

さくら・にゃん・にゃん
3.22
3月22日は「さくらねこの日」



659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金



※古紙リサイクル適性ランクリストのAランク資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物です。古紙になった場合、印刷・情報用紙向けの製紙原料として使用が可能です。

一人でも多くの人に知ってもらいたいので、この資料を読み終えたら他の人に渡してください。

公益財団法人
どうぶつ基金
活動報告書

2022

ANIMAL ACTION FUND ACTIVITY REPORT

2022/4/1—2023/3/31





お礼とご報告

皆様へ

日頃より、どうぶつ基金の活動をご支援いただきありがとうございます。

どうぶつ基金ではTNRのため全国の協力病院で無料不妊手術を行っておりますが、まだまだ地域によって供給力不足が続いています。そこで、2022年度はどうぶつ基金自ら熊本県、福岡県、宮崎県、大阪府で「どうぶつ基金病院」を運営し、多くの野良猫に無料不妊手術を行いました。

中でも熊本県では熊本市動物愛護センター内に「どうぶつ基金病院熊本」を開設しセンターの行政獣医師に技術指導を行いながら無料不妊手術を2,604頭、行いました。これまで事務仕事が多かった手術経験がほぼない獣医師にどうぶつ基金病院の山口武雄統括院長がマンツーマンで指導を行った結果、3か月後には一日20頭以上の不妊手術を施せるようになりました。その甲斐あって2023年度からはセンターの獣医師だけで手術を行う自走体制を確立し週2回、年間1,500頭を目標として無料不妊手術を行うことになりました。

このようなたゆまぬ努力と進化を続け、どうぶつ基金が行った「さくらねこ無料不妊手術」の累計手術頭数は280,000頭を突破。殺処分ゼロの実現まで、一步一步確実に歩みを進めています。

これらは、同じ目標と高い志を共有するボランティア、獣医師、協働いただいた行政、そして、ご寄付をいただく皆様のご支援があつてこそ成し遂げることができた成果です。

あらためて皆様にお礼を申し上げますとともに、一向に収まらないコロナ禍のなか、精一杯頑張つて成し遂げた活動のすべてを感謝の気持ちをこめてご報告いたします。



公益財団法人どうぶつ基金 理事長

佐上邦久

さくらねこTNRで殺処分ゼロ!





1年間で **11,848** 頭のさくらねこが誕生!



TNR地域集中プロジェクト



全国4カ所で直営病院を開院。2年目の実施となった地域集中TNRで殺処分ゼロ達成に向けて、さらに邁進!

どうぶつ基金では、全国193の協力病院で年間6万頭を超える無料不妊手術を行っています。しかし、近隣に協力病院がない・少ないことによってTNRが進まない地域も多く、歯がゆい思いをしてきました。そこで考えたのが「TNR地域集中プロジェクト」。どうぶつ基金直営の無料病院を1年間の期間限定で展開し、その地域のTNRを促進するプロジェクトです。

選ばれたのは大阪・福岡・宮崎・熊本の4地域

開院場所を決めるにあたり、審査は難航を極めました。以下のような観点から総合的に審査・選考を行いました。

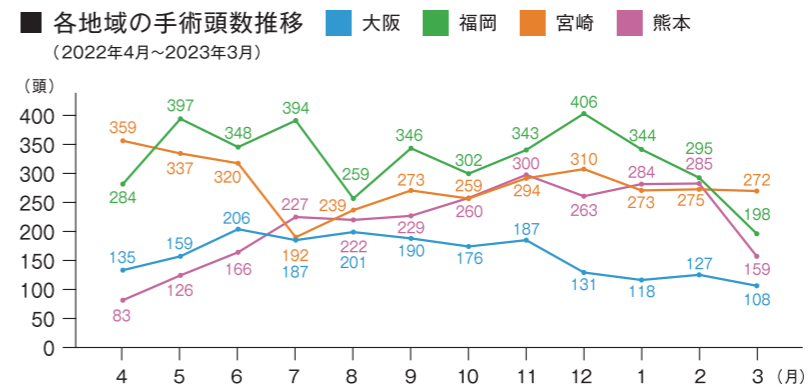
- 立地 (獣医師やスタッフの移動、周辺地域からの猫の搬送のしやすさなど)
- 手術会場 (広さや形状、手術実施の導線など)
- コスト (賃料などの必要経費)
- 頭数 (周辺地域の猫の総数や手術予定頭数など)
- その他 (過去の取り組み、熱意や意気込みなど)

その結果、大阪(八尾市)・福岡(みやま市)・宮崎(宮崎市)・熊本(熊本市)の4地域に決定。2年目の実施として2022年4月よりプロジェクトがスタートしました。

どうぶつ基金と行政との協働事業について
一般的に「行政との協働事業」というと、行政主導の税金事業が主です。が、どうぶつ基金の場合は、逆です。税金は使わず、どうぶつ基金が皆様からお預かりした寄付金で実行します。なので知恵を絞り、究極まで無駄を省いています。

1年間で11,848頭のさくらねこが誕生

2021年度は3地域で8,425頭のさくらねこが誕生しましたが、2年目となる今回は1年目を大きく上回る**11,848頭**のさくらねこが誕生しました。



■ 各地域の累計手術頭数と平均頭数

地域	累計手術頭数	平均頭数/月
大阪	1,925頭	161頭
福岡	3,916頭	327頭
宮崎	3,403頭	284頭
熊本	2,604頭	217頭

TNR地域集中プロジェクトにおいて、自治体から感謝状をいただきました

- 宮崎県 宮崎市、高千穂町、延岡市、日南市、日向市、五ヶ瀬町、美郷町
- 奈良県 橋本市、五條市
- 福岡県 みやま市、大川市、大牟田市、柳川市、八女市、筑後市、広川町
- 熊本県 熊本市

これまでどうぶつ基金が主体の事業でしたが、各地で自治体の自走が始まりました。本当にうれしいことです。宮崎市や熊本市のような自走へ向けての取り組みが全国の協働行政に広まることを期待します。





累計手術頭数 1,925頭!

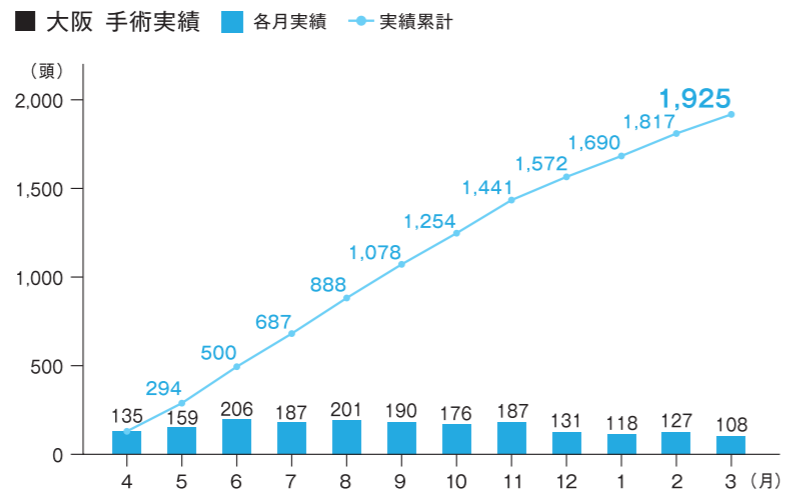
どうぶつ基金病院・大阪（八尾市）

大阪では1年間で1,925頭の不妊手術が行われました。大阪の日程はたった2日間。そして今年度はプロジェクトの前日に雨が降ったり、10年に一度の寒波がやってきたりと天候に恵まれない月も多くあり、捕獲が困難な状況が多かったです。

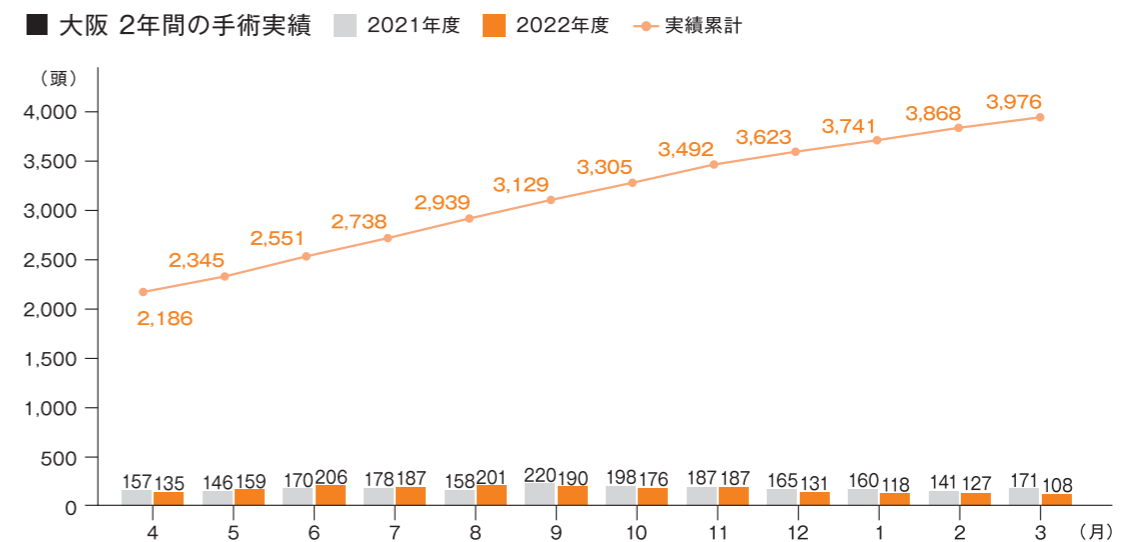
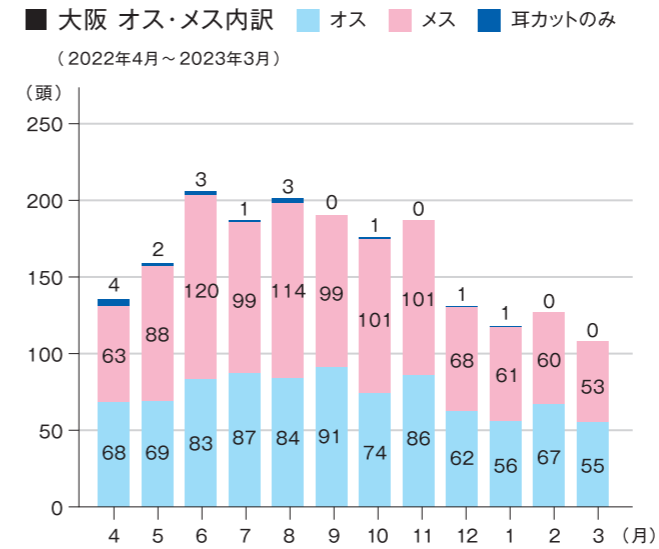
- 累計手術頭数 **1,925頭**
- 参加獣医師 **7名**
- サポート団体 **大阪ねこの会**

TNRが進む大阪ならではの難しさ

大阪は全国的に見てもTNRが進んでいる地域。そのため、他の猫が捕獲される様子を見て学習し、捕獲器に入らない賢い猫が増えているのです。あらゆる方法を駆使して何とか捕獲を試みるボランティアと、「捕まっとなるものか」と捕獲の手をすり抜ける猫との知恵比べが繰り返されています。



前年度の月平均は171頭でしたが、今年度の月平均は161頭でした。実施地域の中で少ない頭数ですが、2日の実施期間や天候に恵まれなかった影響などもあり、TNRが進むほど猫が捕獲しづらくなる大阪ならではの課題と言えるでしょう。



ボランティアの地道な努力で推進した2年間

2021年は2,051頭、2022年は1,925頭、2年間の累計は3,976頭でした。猫が捕獲しづらくなっている大阪で達成した2年間で3,976頭の手術実績は、「殺されるために生まれてくる命を1つでも減らしたい」と、日々寝食を忘れて捕獲に尽力したボランティアがいたからこそその結果です。



voice
これで終わりじゃない、これからも救うで

会場提供 萱村 元信

2年間「TNR地域集中プロジェクト」でお世話になりました。たくさんの外猫に不妊手術をすることができ、ボランティアも助かり不幸な猫が増えるのを防ぐ事が出来ました。これもご寄付頂いたさくらねこサポーターさんたちのおかげです。ありがとうございました。この動きを止めることなく、引き続きTNRに力を入れて頑張っていきます！

萱村様には約200平米の手術会場を2年間無償で提供していただきました。心より感謝申し上げます。 どうぶつ基金



どうぶつ基金病院・福岡 (みやま市)

2021年度は筑後市で実施した福岡県でのTNR地域集中プロジェクト。2022年度は拠点をみやま市に移しての実施となりました。

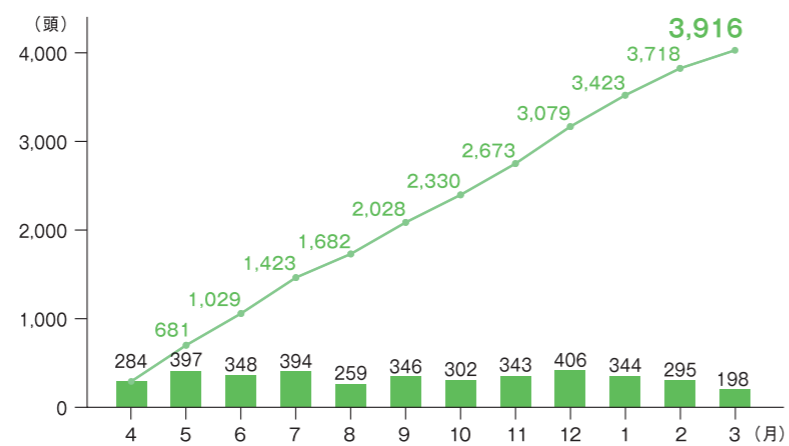
□ 累計手術頭数 **3,916**頭

□ 参加獣医師 **14**名

2年越しとなるプロジェクトで スムーズな病院運営

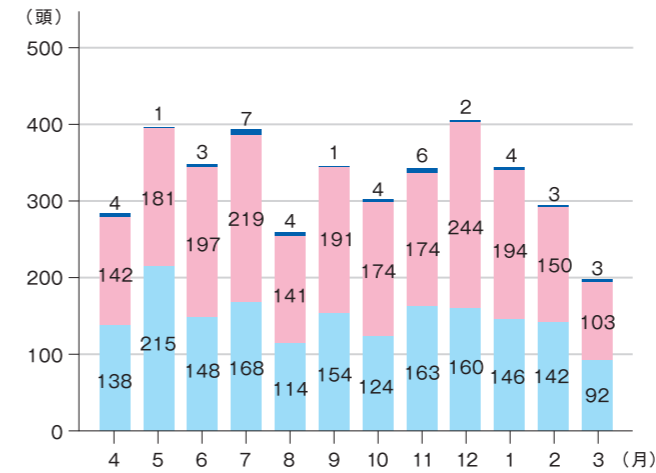
福岡県では、どうぶつ基金にボランティア登録する行政が増加傾向にあり、TNR地域集中プロジェクトみやまでは、17の協働行政から申請がありました。TNRに積極的に取り組む行政が増えれば、さらに殺処分ゼロへの道は近づきます。昨年の筑後市から2年越しで参加いただいているボランティアも多く、先輩から新入りさんにベテランの技術が継承されるなど、獣医師・行政・ボランティアの方々のワンチームでスムーズな病院運営が行われました。

■ 福岡 手術実績 ■ 各月実績 ▲ 実績累計

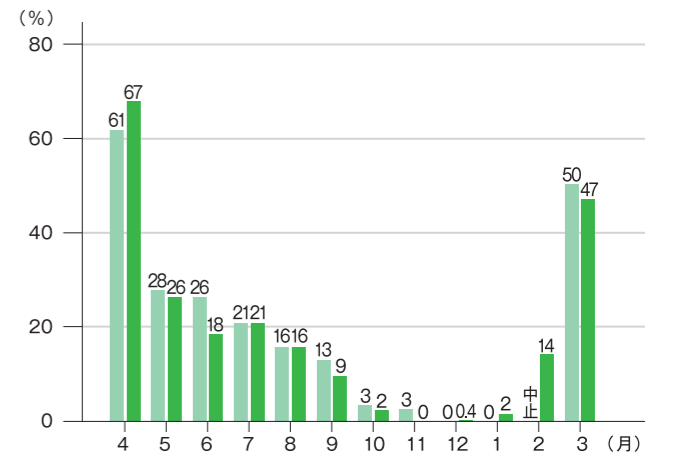


前年度の月平均は258頭でしたが、会場も広くなり今年度の月平均は327頭と大幅に増加しました。12月は鳥栖市が行政登録をされ競馬場の猫を協働でTNRしたことにより400頭を超えた実施となりました。

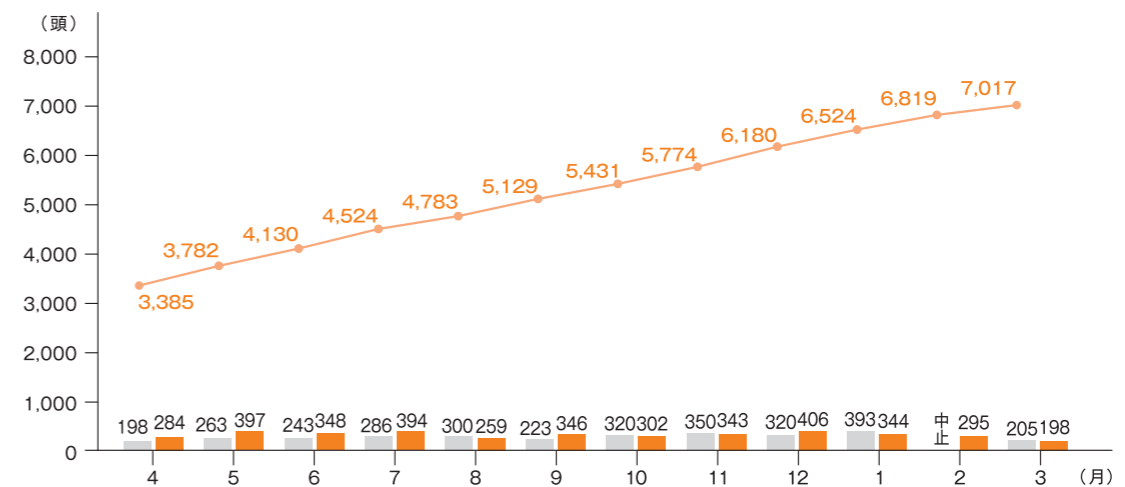
■ 福岡 オス・メス内訳 (2022年4月～2023年3月)



■ 福岡 各月のメスの妊娠率 (2022年4月～2023年3月)



■ 福岡 2年間の手術実績 ■ 2021年度 ■ 2022年度 ▲ 実績累計



継続実施で九州の状況は変わるはず

2021年は3,101頭、2022年は3,916頭、2年間の累計は7,017頭でした。福岡ではTNRに取り組む行政が増え、実施していくことでの効果により関心も確実に高まっています。TNRは継続してこそ効果を発揮します。今後も地元行政や地元ボランティアや地元住民が一丸となって取り組むことで九州の状況は大きく変わるはずだと。



voice

**殺処分ゼロ実現のために
これからも頑張ります**

みやま市
環境衛生課 課長 宮崎 眞一

どうぶつ基金のボランティアの皆様、地域の皆様のご協力によりTNR活動が実施できたことを感謝申し上げます。みやま市では、人と動物の健康、環境の健全性是一つとするワンヘルスの理念のもと、「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加し、地域住民からの相談に対応できるケースも増えてきました。今後も、人と動物を取り巻く様々な課題解決に向けて、行政やボランティアの方々、市民の方々と一緒になって取り組んでいきます。



累計手術頭数 **3,403** 頭!

どうぶつ基金病院・宮崎 (宮崎市)

2021年に引き続き、2年目の実施となった宮崎のTNRプロジェクト。温暖な気候のイメージがありますが、台風や積雪など天候に恵まれない月も多い中、3,000頭を超える手術件数となりました。

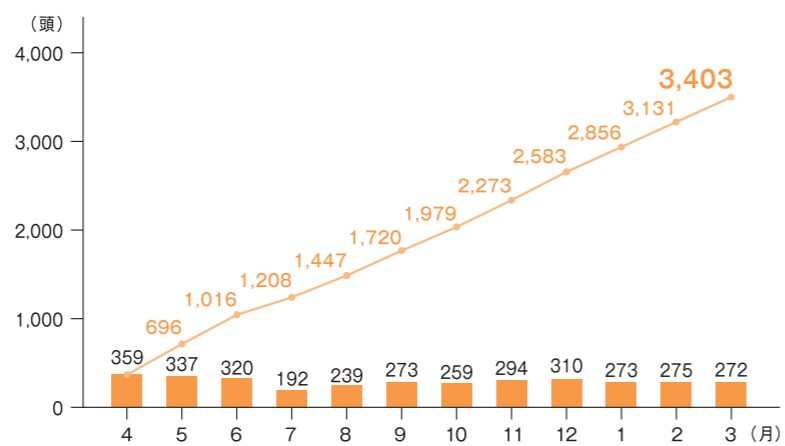
□ 累計手術頭数 **3,403** 頭

□ 参加獣医師 **3** 名

宮崎県でのTNRの推進が 大きく進んだ2年間

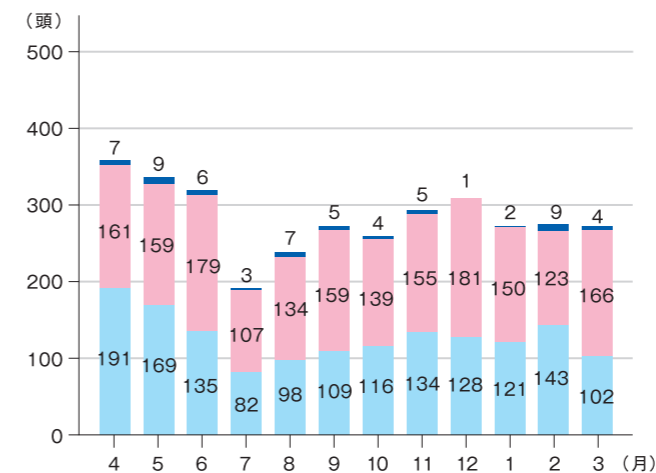
どうぶつ基金病院宮崎では登録のある9つの行政と協力体制を確立し、熱心にTNRに取り組んでいただきました。休日返上で従事して下さる行政の職員の方々など積極的に取り組む行政が増えることで、さらに殺処分ゼロへの道は近づきます。

■ 宮崎 手術実績 ■ 各月実績 ▲ 実績累計

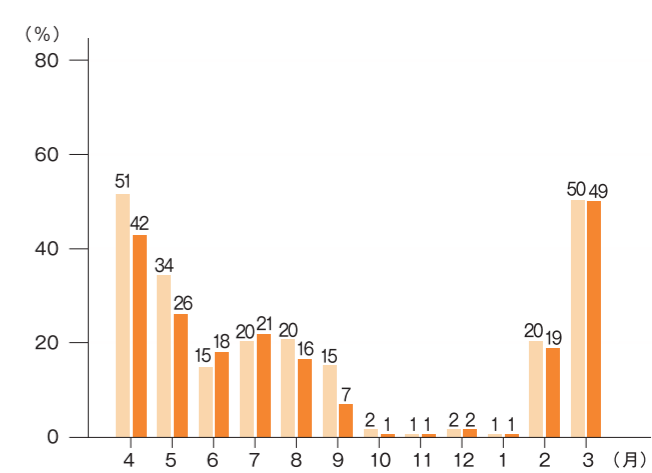


前年度の月平均は273頭でしたが、今年度の月平均は284頭でした。プロジェクトの実施期間も前年度の4日間から6日間に増え、多くの手術を行うことができました。

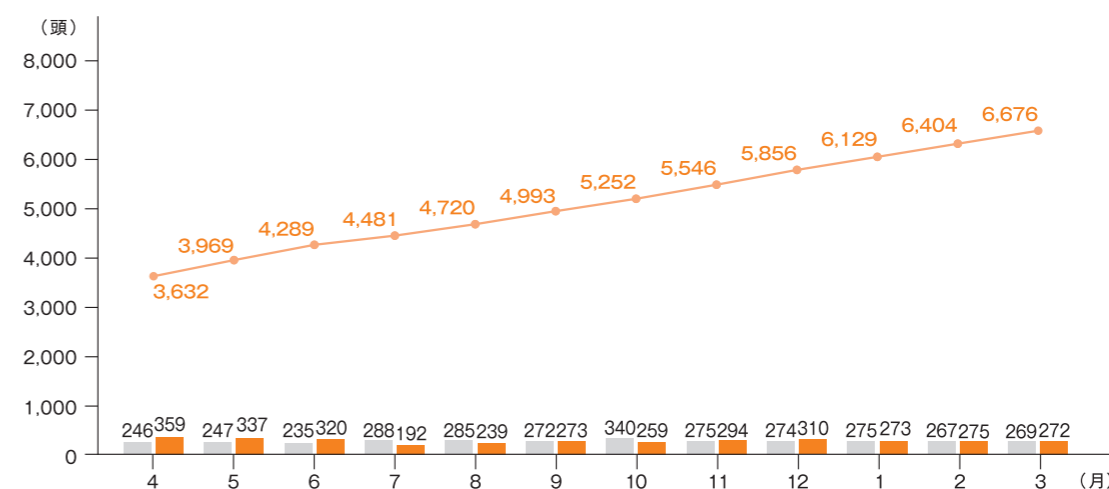
■ 宮崎 オス・メス内訳 (2022年4月~2023年3月)



■ 宮崎 各月のメスの妊娠率 (2022年4月~2023年3月)



■ 宮崎 2年間の手術実績 ■ 2021年度 ■ 2022年度 ▲ 実績累計



これからは自走での取り組みが始まる

宮崎市では2023年度から宮崎市動物愛護管理センターで1,000頭の飼い主不明猫の無料不妊手術を行うことになりました。2年間の宮崎でのTNRプロジェクトは言わばTNR促進のための土台作り。これからの宮崎の取り組みに期待します。



voice

宮崎でのTNRが 加速したと実感

実行委員 山本 清美

2年間に及ぶ、TNR地域集中プロジェクトの実施について、全国のさくらねごサポーターの皆様へ、心より深く感謝申し上げます。皆様のお力添えをいただきながら、宮崎県内各地のボランティアさんと、県下各行政との連携にて、どうぶつ基金病院宮崎で、6,676頭のさくらねごが誕生しました。また、宮崎県内で3年前にはゼロであった登録行政が、プロジェクト実施により13市町となったこと、捕獲・運搬を担って下さる行政も存在するようになったこと、まさしく宮崎のTNRを加速していただき、たくさんの人と猫が救われました。本当にありがとうございました。



どうぶつ基金病院・熊本 (熊本市)

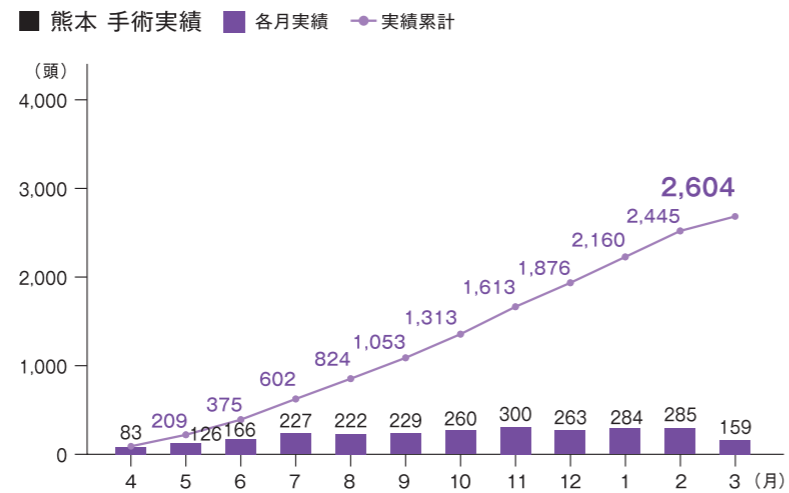
どうぶつ基金が公募していたTNR地域集中プロジェクトに熊本市自ら手を挙げて参加が決定、どうぶつ基金との協働のもと、熊本市動物愛護センター内にどうぶつ基金病院熊本を設立。2022年4月から一年間にわたって、毎月3日間、無料で不妊手術を行いました。

□ 累計手術頭数 **2,604頭**

□ 参加獣医師 **4名**

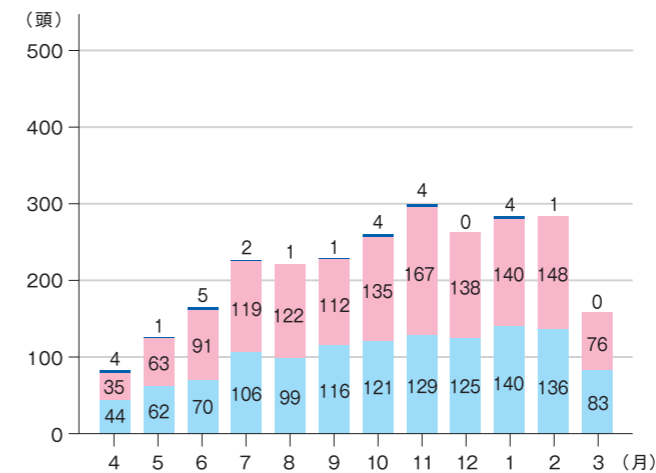
どうぶつ基金の技術を しっかりと伝え継承していく

どうぶつ基金の山口武雄獣医師により、熊本市動物愛護センターの獣医師にマンツーマンで技術指導が行われました。これは、どうぶつ基金とのプロジェクトが終わっても、行政が独自に不妊手術を続けられるようにするプログラムです。この技術指導のプログラムにより、これまで手術の経験がほとんどなかった熊本市動物愛護センターの獣医師は、1人で1日25頭もの不妊手術がこなせるエキスパートになりました。

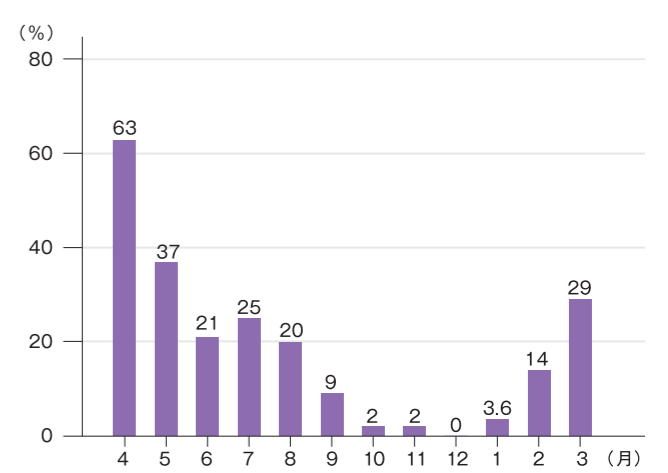


プロジェクトの開始当初はまだ手術頭数が少なかったのですが、山口獣医師による技術指導によって行政獣医師の技術力が格段に上がり、1年間で2,604頭の不妊手術が実施されました。

■ 熊本 オス・メス内訳 (2022年4月～2023年3月)

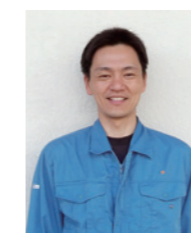


■ 熊本 各月のメスの妊娠率 (2022年4月～2023年3月)



着実に確実に熊本市でのTNRは根付いていく

1年間の技術指導を経て、熊本市動物愛護センターは2023年度から自走し、週2回、年間1,500頭を目標として無料不妊手術がスタートします。殺処分ゼロ達成まではまだ道半ばです。これからも官民一体となって、自由でしあわせな熊本市になることを期待しています。



voice

プロジェクト参加で
熊本市でのTNRが確立

熊本市動物愛護センター

近年、熊本市動物愛護センターには野良猫に関する苦情や相談が多く寄せられており、また、子猫の収容頭数もなかなか減らない状況でした。そんな中、2022年度のTNR地域集中プロジェクトに参加させていただいたところ、多くの市民の方からのお申し込みがあり、1年間で約2,600頭の野良猫のTNRを行うことができました。今後もTNRを推進することで野良猫の繁殖を抑え、野良猫問題の解決や殺処分ゼロにつなげていきたいと思っています。

どうぶつ基金が実施するさくらねこ無料不妊手術。

2022年度は **62,116**頭の
さくらねこ無料不妊手術を行いました。

2021年度、猫の殺処分数は全国で11,718頭でした。保健所やセンターに持ち込まれた所有者不明猫のうち82%が生まれて間もない幼齢猫でした。産まれてすぐに殺される。そんな悲劇は、不妊手術さえしていれば起きなかったのです。どうぶつ基金では、不妊手術が殺処分ゼロへの最も有効な手段と考えています。2022年度は62,116頭の猫に不妊手術を実施しました。

- 登録行政数 **430**件 一般枠協働ボランティア(のべ) **13,555**名
- 協力病院数 **193**病院 出張手術の回数と手術頭数(総数) **1**回(三重県) 累計 **181**頭

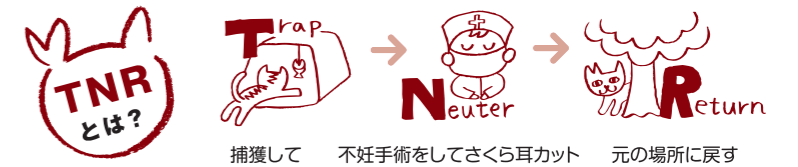
■ 2022年度 登録行政一覧(430団体) (2023年3月31日現在)

【北海道】岩内町 / 古平町 / 新ひだか町 / 倶知安町 / 占冠村 / 蘭越町 / 夕張市営住宅管理センター / 名寄市 / 登別市 / 初山別村 / 苫小牧市 / 室蘭市 / 苫前町 / 中札内村 / むかわ町 / 江別市 / 千歳市 / 根室市社会福祉協議会 / 共和町 / 森町 / 岩見沢市福祉事務所 / 小樽市 / 北海道軽種馬振興公社 / 仁木町【青森県】五所川原市 / 南部町 / 青森市 / 東北町 / 十和田市 / 三戸町 / 五戸町【岩手県】一関市 / 遠野市【宮城県】仙南保健所 / 東松島市 / 大崎保健所 / 石巻保健所 / 利府町 / 気仙沼保健所【福島県】楡葉町 / 二本松市 / いわき市 / 白河市 / 広野町【茨城県】大子町 / 神栖市 / 小美玉市 / 笠間市 / 北茨城市 / 阿見町 / 潮来市 / 行方市 / 筑西市 / 茨城町 / 八千代町 / 常総市 / 下妻市 / かすみがうら市 / 日立市 / 稲敷市 / 坂東市 / 取手市 / 高萩市 / 龍ヶ崎市 / 大洗町 / 鉾田市 / 石岡市 / 常陸大宮市【栃木県】野木町 / 小山市 / 足利市【群馬県】中之条町 / 沼田市 / 吉岡町 / 大泉町 / 富岡市 / 高崎市動物愛護センター / 桐生市 / 甘楽町 / 伊勢崎市 / 下仁田町 / 渋川市 / 安中市 / 前橋市 / 藤岡市【埼玉県】志木市 / 越生町 / さいたま市動物愛護ふれあいセンター / 滑川町 / 美里町 / 上里町 / 川島町 / 白岡市 / 公益社団法人杉戸町シルバー人材センター / 新座市 / 熊谷市 / 嵐山町 / 八潮市 / 朝霞市 / 飯能市 / 深谷市 / 日高市 / ふじみ野市 / 所沢市 / 松伏町 / 久喜市 / 富士見市 / 羽生市 / 鳩山町 / 加須市 / 幸手市 / 杉戸町 / 越谷市 / 小川町 / 神川町 / 和光市 / 毛呂山町 / ときがわ町 / 行田市 / 東松山市 / 川越市保健所 / 吉川市 / 坂戸市 / 三郷市 / 吉見町 / 入間市 / 宮代町 / 浦和競馬組合 / 本庄市【千葉県】成田市 / 白井市 / 八千代市 / 野田市 / 袖ヶ浦市 / 我孫子市 / 千葉市動物保護指導センター / 市川市 / 君津市 / 富津市 / 長生村 / 多古町 / 一宮町 / 柏市動物愛護ふれあいセンター / 松戸市 / 白子町 / 長柄町 / 株式会社日比谷アメニス東関東支店 / 流山市 / 四街道市 / 佐倉市【東京都】東久留米市 / 中野区保健所 / 府中市 / 東村山市 / 瑞穂町 / 清瀬市 / 武蔵村山市 / 福生市 / 青梅市 / あきる野市 / 八王子市 / 日野市 / 多摩市 / 三鷹市 / 中央区保健所 / 小平市 / 西東京市 / 調布市 / 奥多摩町 / 狛江市 / 東大和市【神奈川県】南足柄市 / 藤沢市 / 平塚市 / 松田町 / 中井町 / 綾瀬市 / 真鶴町 / 小田原市 / 寒川町 / 茅ヶ崎市 / 大磯町 / 厚木保健福祉事務所 / 厚木保健福祉事務所大和センター / 湯河原町 / 座間市 / 横須賀市動物愛護センター / 箱根町【新潟県】佐渡市【富山県】富山市保健所【山梨県】韭崎市 / 中央市 / 山梨県中北建設事務所 / 上野原市 / 西桂町 / 市川三郷町 / 甲府市 / 甲斐市 / 鳴沢村 / 山梨市 / 忍野村 / 身延町 / 甲州市 / 笛吹市 / 南部町 / 富士吉田市 / 南アルプス市 / 大月市 / 山中湖村 / 富士河口湖町 / 都留市【長野県】飯田保健所 / 山ノ内町 / 木島平村 / 坂城町 / 佐久穂町 / 東御市 / 長和町【岐阜県】笠松町 / 下呂市 / 高山市 / 川辺町 / 本巣市 / 可児市 / 岐阜県健康福祉部【静岡県】伊東市【愛知県】美浜町 / 知立市 / 大山市 / 西尾市 / 北名古屋 / 一宮市保健所 / 安城市 / 武豊町 / 新城市 / 江南市 / 常滑市 / 半田市【三重県】三重県動物愛護推進センターあすまいる / 伊賀保健所 / 多気町 / 伊賀市 / 大紀町【滋賀県】愛荘町 / 高島市 / 長浜市 / 堅田漁業協同組合 / 矢橋船島公園 / 多賀町 / 彦根市 / 草津市【京都府】長岡京市【大阪府】忠岡町 / 岬町 / 田尻町 / 高石市 / 大阪狭山市 / 河内長野市 / 和泉市 / 大泉緑地管理事務所 / 岸和田市 / 島本町 / 枚岡公園管理事務所 / 山田池公園管理事務所 / 二色の浜公園管理連合会 / 浜寺公園管理事務所 / 八幡屋スポーツパークセンター / 大阪学院大学 / 鶴見緑地公園事務所 / 深北緑地管理事務所 / 泉大津市 / 太子町 / 富田林市 / 守口市 / 堺保健福祉センター / 三ノ瀬公園 / 柏原市 / 河南町 / 阪南市 / 門真市 / 大阪府営寝屋川公園 / 羽曳野市 / 大東市 / 松原市 / 花園中央公園 / 貝塚市 / 堺市南区 / 久宝寺緑地管理共同体 / 泉佐野市 / 寝屋川市 / 藤井寺市【兵庫県】豊岡市 / 播磨町 / 尼崎市動物愛護センター / 川西市 / 香美町 / 太子町 / 鳴尾浜臨海公園【奈良県】香芝市 / 明日香村 / 三宅町 / 葛城市 / 田原本町 / 王寺町 / 高取町 / 五万人の森公園 / 桜井市 / 御所市 / 五條市 / 川西町 / 橿原市 / 宇陀市 / 三郷町 / 大和郡山市 / 斑鳩町 / 大和高田市 / 天理市 / 奈良市【和歌山県】橋本市 / 新宮保健所【鳥取県】南部町 / 日南町【島根県】出雲市【山口県】下関市【高知県】高知県立美術館【香川県】三豊市 / 観音寺市【福岡県】うきは市 / 大刀洗町 / みやこ町 / 久留米市 / 太宰府市 / 小都市 / 芦屋町 / 大牟田市 / 遠賀町 / 新宮町 / 吉富町 / 大川市 / みやま市 / 篠栗町 / 柳川市 / 志免町 / 広川町 / 古賀市 / 大野城市 / 筑後市 / 那珂川市 / 八女市 / 筑紫野市 / 飯塚市 / 宗像市 / 行橋市 / 福津市【佐賀県】鳥栖市 / 基山町 / 多久市 / 上峰町【長崎県】壱岐市 / 大村市 / 長崎市【熊本県】菊池市 / 合志市 / 荒尾市 / 熊本市動物愛護センター / 南関町 / 長洲町 / 菊池保健所【宮崎県】宮崎県動物愛護センター / 新富町 / 五ヶ瀬町 / 小林市 / 都城市 / 延岡市 / 国富町 / 三股町 / 美郷町 / 木城町 / 高千穂町 / 日南市 / 日向市【鹿児島県】出水市 / 西之表市 / 三島村 / 霧島市 / 曾於市 / 始良市 / さつま町 / 阿久根市 / 湧水町 / 志布志市 / 伊佐市 / いちぎ串木野市 / 鹿児島市保健所 / 十島村 / 日置市【沖縄県】宮古島市 / 中山区公民館 / 那覇市 / 西原町 / 座間味村 / 八重瀬町 / 金武町 / 北谷町 / うるま市 / 浦添市 / 南城市 / 那覇市地域包括支援センター / 沖縄県総合運動公園 / 今帰仁村 / 渡嘉敷村 / 与那原町 / 宜野座村 / 北中城村 / 安部区 / 中城村 / 嘉陽区公民館 / 名護市 / 豊見城市 / 嘉手納町 / 伊江村 / 沖縄市 / 宜野湾市 / 読谷村 / 沖縄県中部土木事務所 / ぎのわん海浜公園 / 本部町 / 南風原町 / 恩納村 / 糸満市

どうぶつ基金が推進するさくらねこTNR。

- 即行** **スグやる** 猫は1年に3回出産することができ、1度に5~7頭の子猫を産むことができます。生まれた子猫は6か月たつと妊娠が可能な年齢になり孫猫を産みます。TNRをゆっくり行っている、猫の繁殖スピードに追い付けません。
- 徹底** **全部やる** 90%の猫にTNRをしても、残った猫からあつというまに増えてしまいます。だいたいやって満足するのではなく、100%の猫にTNRを行うことが大切です。
- 継続** **続ける** 100%を目指してTNRを行っても、捕獲もれや新入りが見つかります。その都度、未手術の猫を見つけ、素早く対応していく管理体制を維持できれば殺処分ゼロ、苦情ゼロが実現できます。

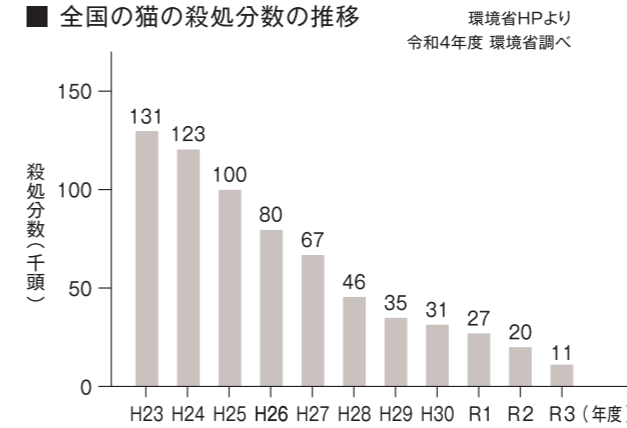
さくらねこTNR (TNR先行型地域猫活動)



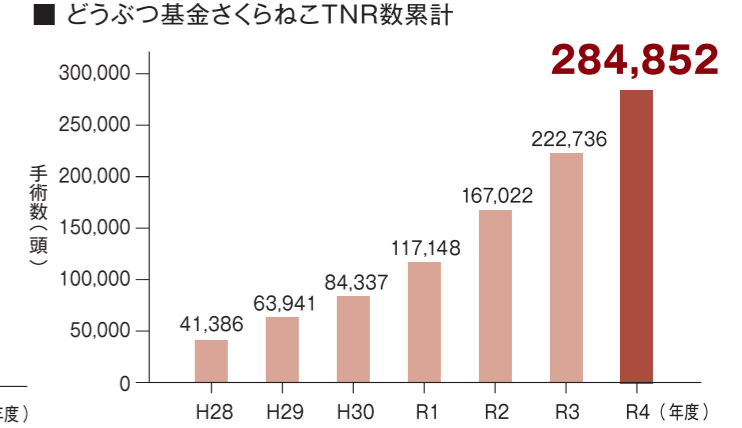
「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR」を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関する行政(保護団体)などへの苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。

TNRは、トラップ(捕獲して)ニューター(不妊手術をしてさくら耳カット)リターン(元の場所に戻す)の略。どうぶつ基金では、TNRの実績豊富な獣医師や専門スタッフが、ご相談を受け付けています。

■ 全国の猫の殺処分数の推移



■ どうぶつ基金さくらねこTNR数累計



1,480組の協働ボランティアが19,630頭の猫を保護・里親探しをしました。

さくらねこTNRは猫を捕獲して(Trap)不妊手術をして(Neuter)元いた場所に戻す(Return)ことが原則なのですが、多頭飼育崩壊や疾病、元いた場所の環境が劣悪など、様々な事情によりどうしても元いた場所に戻すことができません。そんな時は協働ボランティアが保護して里親探しをする場合があります。ボランティアはほかに保健所で殺処分される猫の引き取りもしています。どうぶつ基金の1,480組の協働ボランティアは1年間に19,630頭の保護・里親探しをしました。

【?】 協働ボランティアとは

どうぶつ基金の活動を共に支え、殺処分ゼロを目指す仲間たちのことです。協働ボランティアの多くはTNRのT(捕獲)とR(リターン)とその後の動物の世話をします。なかには出張手術にボランティアとして参加する獣医やAHTもいます。ほかにも、パソコン、翻訳、デザイナー、マーケティング戦略など、仕事を通じて培ったスキルを活用してプロボノ参加する方や企業もいます。どうぶつ基金の活動は共に殺処分ゼロを目指すボランティアとの協働によって成り立っています。

※ ボランティア参加の応募はHPから受け付けています。

多頭飼育救済

ヒトも動物も救う、
それがどうぶつ基金の多頭飼育救済。



※犬の多頭飼育救済は申請なし

多頭飼育崩壊の現場は想像を絶するほど悲惨です。糞尿やゴミであふれかえり、清潔な水も十分な餌もない、ケガも病気も放置され、子猫や子犬が産まれては死んでいく。

まさに地獄のような環境で生きることを余儀なくされた猫や犬を救うための最初の一步、それは全頭の不妊手術です。繁殖を止めることで、飼い主に考える・行動できる時間を与え、関係者のサポートのもと生活を立て直してもらおう。どうぶつ基金の多頭飼育救済は、ヒトと動物を同時に救うための支援であり、ボランティアの二次崩壊の防止にも役立っています。



2022年度、どうぶつ基金が実施した多頭飼育救済支援は68件でした。平均すると1カ月に6件もの支援を行ったこととなりますが、この68件は氷山の一角です。逃げ出すこともできず、空腹や苦痛に耐える日々を過ごす犬や猫たちは全国に数えきれないほどいます。

2020年に改正動物愛護法が施行され、行政機関は多頭飼育崩壊現場に立ち入り検査ができるようになりました。全国の行政機関は、動物の命を救い、飼い主に支援の手を差し伸べ、周辺環境を改善するため、この権限を形骸化させることなく活用する義務があります。

環境省「人、動物、地域に向き合う多頭飼育対策ガイドライン ～社会福祉と動物愛護管理の多機関連携に向けて～」



voice

■ 鹿児島県鹿児島市

配偶者の失業等により、当事者自身では経済的に全頭の手術を行うことが困難な状況でしたが、どうぶつ基金の支援を受けて手術を行うことができました。手術後の飼育環境の改善により室内の臭いが軽減されたことで、近隣からの苦情もなくなり、周辺環境の改善にもつながりました。

■ 埼玉県所沢市

多頭飼育現場の猫の頭数、飼育環境等の状況を掴むのに時間を要したため、数匹の子猫が生まれてしまったのが反省点です。しかしながら、ボランティアの協力のおかげでスムーズに不妊手術を行うことができ、そして譲渡先も複数見つけ、多頭飼育現場の大きな環境改善に繋げることができました。

■ 長野県木島平村

多頭飼育救済に伴うノウハウが足りなかったことで、行政としてすべき行動が遅れてしまいました。これからは、行政として、事前に地域と密着して、多頭飼育をされている方やしそうな方へのケアを欠かさないようにし、不妊手術への関心をより強く持ち、不幸な命を増やさないようにしていきたいと思っています。

■ 茨城県かすみがうら市

当市の生活保護担当からの相談で発覚し、多頭飼育救済支援を利用させていただきました。手術前に3頭が亡くなってしまい、もう少し早く関わることができたらと反省しています。残りの33頭は元気に家に帰り、4頭はボランティアに引き取っていただきました。社会福祉課と協力して行った支援です。これからも課を越えた協力体制を整えていきたいと思っています。

■ 多頭飼育救済 支援事例

○ 茨城県
石岡市



○ 埼玉県
所沢市



○ 鹿児島県
鹿児島市



■ 2022年度 多頭飼育救済累計表 (2023年3月31日 現在)

申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計	申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計	申請者	オス	メス	耳カットのみ	合計
宮崎県三股町	7	8	0	15	富山県富山市	13	13	0	26	茨城県石岡市	7	16	0	23
鹿児島県日置市	5	3	0	8	群馬県伊勢崎市	12	18	0	30	鹿児島県阿久根市	7	7	0	14
大阪府松原市	9	1	0	10	兵庫県尼崎市	3	6	0	9	愛知県安城市	14	15	0	29
北海道ひだか町	5	6	0	11	北海道共和町	0	0	0	0	沖縄県糸満市	3	3	0	6
愛知県一宮保健所	4	3	0	7	茨城県下妻市	3	4	0	7	群馬県沼田市	6	15	0	21
愛知県一宮保健所	2	5	0	7	鹿児島県日置市	8	6	0	14	群馬県安中市	18	14	0	32
宮崎県日南市	10	15	0	25	北海道ひだか町	0	1	0	1	群馬県前橋市	6	12	0	18
群馬県藤岡市	12	18	1	31	鹿児島県さつま町	21	19	0	40	茨城県神栖市	11	4	0	15
鹿児島県日置市	7	13	0	20	群馬県吉岡町	12	8	0	20	鹿児島県日置市	6	4	0	10
鹿児島県鹿児島市	6	6	0	12	北海道岩見沢市	16	17	0	33	埼玉県所沢市	12	5	0	17
長野県坂城町	10	13	7	30	兵庫県尼崎市	5	7	0	12	福岡県久留米市	2	9	0	11
群馬県沼田市	10	18	0	28	東京都東大和市	11	16	0	27	群馬県吉岡町	3	9	0	12
鹿児島県鹿児島市	0	1	0	1	鹿児島県いちき串木野市	2	1	4	7	東京都中野区	14	18	4	36
大阪府松原市	1	0	0	1	埼玉県東松山市	3	10	0	13	茨城県太子町	12	18	0	30
茨城県常総市	16	14	0	30	埼玉県東松山市	23	21	0	44	茨城県かすみがうら市	4	8	0	12
埼玉県所沢市	11	8	0	19	茨城県石岡市	13	27	0	40	群馬県大泉町	5	6	0	11
富山県富山市	3	2	0	5	香川県観音寺市	0	0	0	0	群馬県伊勢崎市	6	8	0	14
長野県木島平村	13	14	0	27	長野県山ノ内町	12	9	0	21	青森県青森市	4	5	0	9
鹿児島県さつま町	2	7	0	9	群馬県渋川市	10	25	0	35	鹿児島県鹿児島市	0	3	0	3
鹿児島県鹿児島市	12	18	0	30	宮城県大崎保健所	0	3	0	3	茨城県石岡市	6	9	0	15
北海道小樽市	14	15	0	29	鹿児島県さつま町	17	23	0	40	福島県白河市	0	0	0	0
茨城県かすみがうら市	21	15	1	37	茨城県神栖市	6	12	0	18	埼玉県さいたま市	19	24	0	43
群馬県藤岡市	8	7	0	15	長野県阿智村	4	7	0	11					



協力病院

全国の協働ボランティアと協力病院。

これまでに **284,852** 頭の
さくらねこがうまれました。

さくらねこ無料不妊手術事業では、飼い主のいない猫の問題を、殺処分ではなく不妊手術によって解決しようとする行政や、ボランティアからの申請を受け、どうぶつ基金の協力病院で使用可能な「さくらねこ無料不妊手術チケット」を発行し、活動を支援しています。全国の協力病院とボランティアとの協働により、これまでに284,852頭のさくらねこが協力病院でうまれました。

2022年度
協力病院全国
193
病院



(2023年3月31日 時点)
※詳細は下記参照ください。

voice



ろばの子どうぶつ診療所嶺北分院
吉田 均 先生

寄付者の皆様、そして協働ボランティアの皆様から感謝申し上げます。TNRの重要な三原則「スグやる、全部やる、続ける」を実践するためには、無料不妊手術システムが不可欠であるとの思いから、協力病院に加えていただきました。当院は、四国中央部の小さな町に位置していますが、地元の方々だけでなく、1時間以上かけて高知市や周辺市町、県外(香川、愛媛、徳島)からも多くの方々が来院され、無料不妊手術に対する期待の大きさを日々感じています。また、2022年には宮崎、熊本、福岡でのTNR地域集中プロジェクトに通年参加し、数多くの麻酔や手術を実践することができました。今後は、この経験を活かして活動の幅を広げ、地域の猫問題に積極的に取り組む所存です。

ステッカーが目印です!
かわいい「さくらねこマーク」で
協力病院だと一目でわかると、評判です。



- 北海道
 - 札幌市 えぞりすどうぶつクリニック
 - 日高郡 本間動物病院
 - 沙流郡 るぼんず
 - 千歳市 新千歳動物病院
 - 江別市 Mobile VET Office

- 青森県
 - 西津軽郡 よなが動物病院
 - 八戸市 八戸のらねこ病院

- 秋田県
 - にかほ市 木村いぬ・ねこ病院

- 宮城県
 - 塩竈市 フォルテ動物病院

- 福島県
 - いわき市 いながき動物病院いわき分院

- 茨城県
 - 石岡市 アジア動物医療リハビリテーションセンター
 - 石岡市 茨城さくらねこクリニック
 - 石岡市 石岡中央動物病院
 - つくば市 ノモベペットメディカル
 - 鹿嶋市 ノラネコ動物病院
 - 土浦市 いながき動物病院土浦分院
 - 牛久市 D&C 獣医科クリニック

- 栃木県
 - 足利市 柿沼ペット病院

- 群馬県
 - 邑楽郡 中村動物病院
 - 桐生市 いながき動物病院桐生分院
 - 高崎市 シートン動物病院
 - 藤岡市 ぶー動物病院 群馬分院

- 埼玉県
 - 川口市 ライト動物病院
 - 久喜市 久喜動物クリニック
 - 深谷市 犬の産科クリニック
 - 熊谷市 ほかその動物病院
 - 上尾市 堀どうぶつ病院

- 茨城県
 - 藤原市 ワラビー動物病院
 - 富士見市 ふじみ野動物病院
 - さいたま市 もも動物病院
 - 越谷市 いながき動物病院
 - 朝霞市 神山動物病院
 - 戸田市 ミニオン動物病院
 - 戸田市 アーボック動物病院
 - 八潮市 あーす動物病院
 - 八潮市 ペットクリニッククローバー

- 千葉県
 - 市川市 JUN動物病院
 - 習志野市 カンナ動物病院 幕張医院
 - 松戸市 新松戸どうぶつ病院
 - 成田市 Luna spay clinic 中台診療所
 - 成田市 Luna spay clinic 奈土診療所
 - 千葉市 あいペットクリニック稲毛獣医科
 - 船橋市 カンナ動物病院 船橋習志野医院
 - 袖ヶ浦市 ぶー動物病院 袖ヶ浦
 - 銚子市 いながき動物病院銚子分院
 - 東金市 いながき動物病院東金分院
 - 柏市 カモミール動物病院
 - 柏市 くわじま動物クリニック
 - 茂原市 石井獣医科
 - 野田市 みつば動物病院
 - 流山市 カモミール動物病院 おおたかの森医院

- 東京都
 - 江戸川区 えどがわ犬猫びょういん
 - 江戸川区 モネ動物病院
 - 江戸川区 平井動物病院
 - 渋谷区 フェンネル動物病院塚塚本院
 - 渋谷区 代官山動物病院
 - 千代田区 番町いぬねこクリニック
 - 足立区 ドラセナ動物病院
 - 足立区 こえもん動物病院
 - 足立区 大師前どうぶつ病院
 - 大田区 一二三動物病院
 - 大田区 ウルトラ動物病院
 - 大田区 いまい動物病院
 - 大田区 西馬込動物病院
 - 中野区 フェンネル動物病院
 - 練馬区 ボラン動物病院
 - 練馬区 むらかみ動物医院

- 青梅市 ふう動物病院
- 柏江市 フルヤ ペットクリニック
- 町田市 明和動物愛護病院
- 調布市 飛田給動物病院
- 調布市 調布動物医療センター
- 調布市 くるみ動物病院
- 東大和市 湖畔どうぶつ病院
- 日野市 きもと動物病院
- 八王子市 八王子mocoどうぶつ病院
- 武蔵野市 三鷹獣医科グループ
- 武蔵野市 ひだまり動物病院吉祥寺
- 福生市 福生動物病院
- 立川市 おおにし動物病院
- 立川市 立川プラスワン動物病院

- 神奈川県
 - 横須賀市 川畑動物病院
 - 横須賀市 小川動物病院
 - 横浜市 ライラック動物病院 新山下医院
 - 横浜市 ブルーム動物病院
 - 横浜市 さかい犬猫クリニック
 - 横浜市 いなば動物病院
 - 横浜市 シンシア動物病院
 - 茅ヶ崎市 まつうら動物病院
 - 三浦市 三崎動物愛護病院
 - 小田原市 swingどうぶつ病院
 - 川崎市 ヒナギク動物病院
 - 川崎市 ヴィータ動物病院
 - 川崎市 モモ動物クリニック
 - 相模原市 ぶー動物病院
 - 相模原市 相模原どうぶつ医療センター
 - 相模原市 陽光台グランベッツ動物病院
 - 大和市 山口獣医科病院
 - 愛甲郡 VOO外猫診療所
 - 中郡 かざしつぱクリニック

- 新潟県
 - 佐渡市 島のどうぶつ診療所
 - 魚沼市 ゆきのくに動物病院

- 山梨県
 - 甲斐市 ぶー動物病院 山梨分院
 - 笛吹市 笛吹どうぶつクリニック

- 長野県
 - 飯田市 にじのはしスベイクリニック飯田診療所
 - 長野市 しんけん動物病院

- 富山県
 - 滑川市 滑川さくらねこ動物病院
 - 水見市 大谷獣医科
 - 富山市 アスラン動物病院

- 岐阜県
 - 高山市 にじのはしスベイクリニック高山診療所
 - 羽島市 山下獣医科
 - 岐阜市 にじのはしスベイクリニック
 - 羽島郡 MIMIどうぶつ病院
 - 羽島郡 古田動物病院

- 静岡県
 - 沼津市 どうあい沼津動物病院
 - 浜松市 浜松家畜病院

- 愛知県
 - 岡崎市 アロハ動物病院
 - 岡崎市 ライオン動物病院
 - 江南市 愛北動物病院
 - 江南市 藤ヶ丘動物クリニック
 - 西尾市 ハート動物病院
 - 日進市 ダイゴペットクリニック日進オハナ院
 - 豊川市 ヤマヒロ動物病院
 - 豊田市 アロハオハナ動物病院かもがわ公園小動物クリニック
 - 名古屋市 アメニティ動物病院

- 三重県
 - 伊賀市 三重県獣医師会伊賀支部
 - 津市 すきもと動物病院

- 和歌山県
 - 和歌山市 さくら動物病院
 - 岩出市 トリニティアニマルクリニック

- 奈良県
 - 桜井市 さくら動物病院
 - 生駒市 Rootsどうぶつ病院

- 香芝市 エース動物病院
- 奈良市 あや動物病院
- 磯城郡 あかさか犬と猫の病院
- 磯城郡 おおが動物病院
- 北葛城郡 はねペットクリニック

- 滋賀県
 - 栗東市 こにし動物クリニック
 - 犬上郡 にじのはしスベイクリニック多賀診療所

- 京都府
 - 京都市 TNRサポートセンター

- 大阪府
 - 交野市 イケモトベテリナリークリニック
 - 堺市 堺スベイクリニック
 - 大阪市 北堀江動物病院
 - 大阪市 一犬猫病院
 - 大阪市 天神橋/バンビの森どうぶつ病院
 - 池田市 北摂TNRサポートのらねこさんの手術室
 - 東大阪市 東大阪まちなこ病院
 - 八尾市 Happy Tabby Clinic
 - 豊中市 ゆりの木動物病院
 - 泉南郡 ネコリハほごねこクリニック

- 兵庫県
 - 赤穂市 郷司動物病院
 - 尼崎市 動物病院アニマルプラス
 - 伊丹市 伊丹ねこスベイクリニック
 - 神戸市 くらにゃんクリニック
 - 神戸市 リーベ動物病院
 - 神戸市 ねごとわたしスベイクリニックKOBÉ
 - 神戸市 のら猫クリニック兵庫

- 岡山県
 - 倉敷市 さん犬猫クリニック

- 鳥取県
 - 米子市 ふじい動物病院

- 広島県
 - 広島市 あさ動物病院
 - 福山市 さくらねこクリニック
 - 福山市 りっか動物病院

- 高知県
 - 高知市 アリスペットクリニック
 - 土佐郡 ろばの子どうぶつ診療所嶺北分院

- 福岡県
 - 行橋市 アニモ動物クリニック
 - 三潞郡 おおき犬と猫の病院
 - 大牟田市 大牟田愛犬クリニック
 - 大野城市 さくらねこ動物病院
 - 福岡市 なな。猫達のための病院
 - 福岡市 cat spot clinic

- 宮崎県
 - 宮崎市 宮崎さくらねこ動物病院

- 熊本県
 - 菊陽町 あーす動物病院

- 鹿児島県
 - 始良市 加治木動物病院
 - 始良市 帖佐ステラ動物病院
 - 鹿児島市 中原大猫診療所
 - 鹿児島市 紫原動物病院
 - 鹿児島市 ふるやま動物病院
 - 鹿児島市 かんまち犬猫クリニック
 - 鹿児島市 ル・オーナペットクリニック
 - 日置市 森の動物病院
 - 霧島市 せとがわ動物病院
 - 薩摩郡 はちどりTNR病院(さつま町分院)

- 沖縄県
 - 浦添市 保護猫とつながるクリニック
 - みやうみやう動物病院
 - 那覇市 アイリスいぬとねこの病院
 - 豊見城市 豊見城動物高度医療センター
 - 名護市 TNRなご
 - 名護市 名護動物医療センター
 - 国頭郡 Onna動物診療所
 - 中頭郡 TNRなかくすく
 - 中頭郡 北谷動物医療センター
 - 中頭郡 みやさわ動物病院
 - 中頭郡 TNRよみたん
 - 宮古島市 宮古島動物病院



2022年度は3,546名の個人(一般枠)、47団体、298の行政と協働し、62,116頭のさくらねこ無料不妊手術を実施しました。

どうぶつ基金では、毎年、協働ボランティアに前年度の活動状況についてアンケートを行っています。アンケート結果からは、様々な課題が浮かび上がるだけでなく、猫問題を通じた社会のちょっとした変化も読み取ることができます。

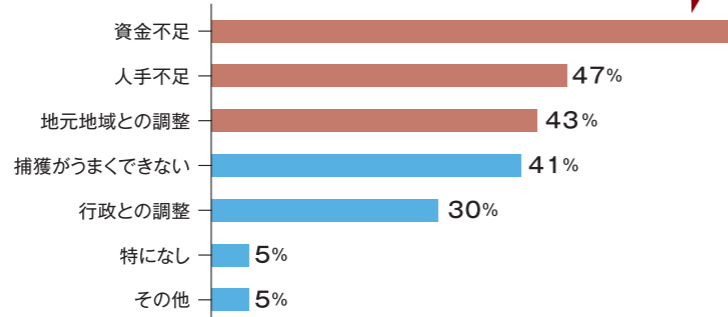
■ 一般枠アンケート結果

- アンケート対象となる一般枠マイページ登録者数 (2023年3月31日) **5,586** 名
- 2022年度さくらねこ無料不妊手術チケット一般枠申請者数 **3,546** 名
- アンケート有効回答数 **1,968** 件

[高齢化に不安を感じる個人ボランティアの実状]

「資金不足」「人出不足」「地元地域との調整」が例年上位に入ってきますが、今回のアンケートで目立ったのは、ボランティアや餌やりさんの高齢化に対する不安の声でした。ボランティアの87%が40代以上であることを考えると無理もありません。「さくらねこTNR」は、命を守る活動であると同時に地域の環境問題を解決する活動です。この活動を持続していくには、地域で飼い主のいない猫の問題に向き合う必要があります。

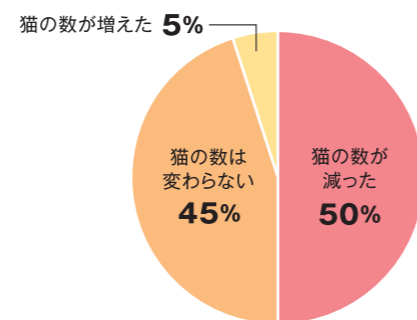
■ 今後の課題や問題 (複数回答)



[「さくらねこTNR」の効果を実感。約50%が「猫の数が減った」と回答]

「猫の数は変わらない」=「効果がない」ということではありません。TNRは飼い主のいない猫の命を守りながら緩やかに頭数を減らしていく活動。数年経つとこの45%が少しずつ「猫の数が減った」に変わっていきます。5%が「猫の数が増えた」と回答していますが、その理由は新たな遺棄やTNR前の猫の出産等によるものでした。

■ TNR後の猫の数について



一般枠アンケート結果の詳細がご覧いただけます。

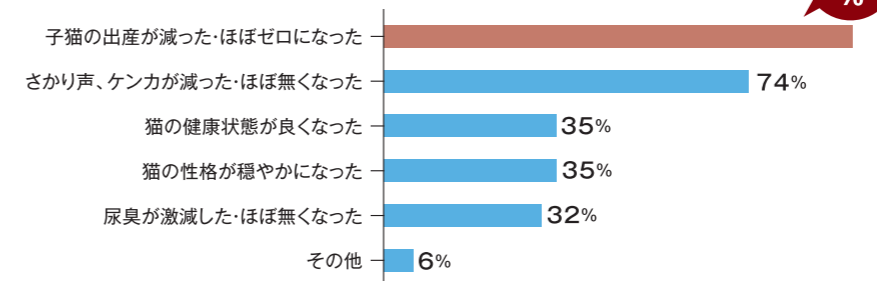


■ 団体枠アンケート結果

- アンケート対象となる団体枠マイページ登録団体数 (2023年3月31日) **65** 団体
- 2022年度さくらねこ無料不妊手術チケット申請団体数 **47** 団体
- アンケート有効回答数 **34** 件

[子猫の出産が減った!これが「さくらねこTNR」の効果]

■ TNRを実施した地域の猫に関して (複数回答)



TNR後に猫が増えたと回答した団体はありませんでした。94%の団体が「子猫の出産が減った・ほぼゼロになった」と回答しており、ここに「さくらねこTNR」の効果が現れています。また、苦情の原因となる鳴き声やケンカ、臭いなども多くの団体が減ったと回答しました。



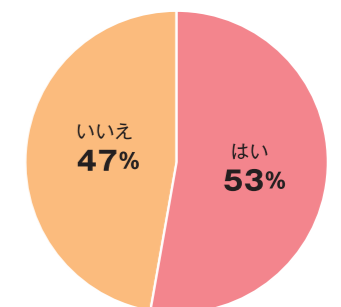
[保護の現状。ボランティア団体の二次崩壊を防ぐには]

85%の団体が猫の保護・譲渡活動を行っていました。53%の団体が20頭以上の猫を保護しており、100頭以上の猫を保護していると回答した団体も4団体あります。飼い主のいない猫や多頭飼育崩壊現場の猫を保護することはとても素晴らしいことです。しかし、保護・譲渡には多くの人手と十分なスペース、そして多額の資金が必要です。ボランティア団体が多頭飼育崩壊状態となる二次崩壊を防ぐには、自分たちの限界を超えた保護はしないこと。そして、社会はボランティア団体の現状を知り、過剰な期待をしないことが求められます。

[ボランティア団体が多頭飼育崩壊の相談窓口]

アンケートに回答した34団体中、53%にあたる18団体が多頭飼育崩壊に関する相談を受けています。どうぶつ基金の多頭飼育救済枠の利用を含め、地元行政と協働して解決したケースがある一方、行政の協力が得られず支援がストップしているケースも見受けられました。また、当事者に現場への立ち入りを拒否される、当事者が精神的に不安定で支援に向けた話し合いができない等の問題も起こっており、民間団体だけの対応が困難なケースは少なくありません。

■ 過去1年間、多頭飼育崩壊の相談を受けたことがありますか



団体枠アンケート結果の詳細がご覧いただけます。



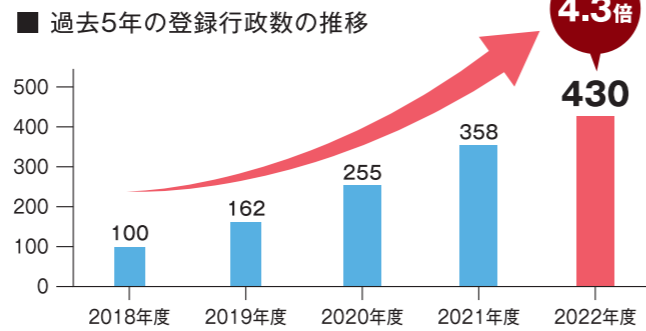


■ 行政枠アンケート結果

- アンケート対象となる団体枠マイページ登録行政数（2023年3月31日） **430** 団体
- 2022年度さくらねこ無料不妊手術チケット申請行政数 **298** 団体
- アンケート有効回答数 **226** 件

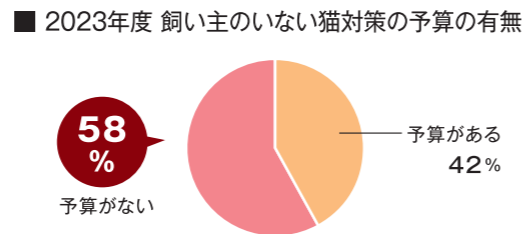
[協働行政数は5年で4.3倍に!さらなる増加に期待]

2022年度末時点で430の行政が「さくらねこ無料不妊手術事業」に参加しています。協働行政が1つもない地域がありますが、そういった地域では、多くのボランティア（個人・団体）が手弁当で奮闘しています。飼い主のいない猫の問題は、本来、行政が取り組むべき問題です。TNRの意義や効果が認知され、協働行政がさらに増加することを期待しています。



[予算を確保した行政はたったの4割。猫問題は誰の問題?]

新年度に向けて、飼い主のいない猫対策の「予算がある」と回答した行政は昨年度と同じく42%でした。予算の多くが不妊手術費用の助成に充てられますが、多くの制約が設けられた行政の助成金制度でどれだけの効果が得られるのでしょうか。「地域猫」の認定基準を下げるなど、抜本的な制度の見直しが必要と考えます。

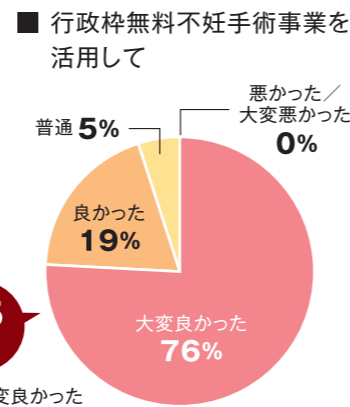


どうぶつ基金のチケット、行政の助成金制度とココが違う!

1. 申請がスムーズ
2. 支援決定が速い
3. 地域住民やボランティアの金銭的負担がない
4. 行政が公式に認めた地域猫活動地域以外でも使用可能

[95%の行政が効果を実感。人と猫が共生できる社会へ]

95%の行政が事業を活用して「大変良かった」「良かった」と回答しました。猫に関する苦情が減った、交通事故等で死亡した猫の回収依頼が減った、猫を温かく見守ってくれる人が増えた、住民やボランティア間のトラブルが減った等の声があるほか、住民からの苦情や相談に対して具体的な提案ができるようになることも行政にとっては大きなメリットです。「少しずつではあるが、人と猫が共生できる社会へ近づいている」これはアンケートに回答したある行政担当者の言葉です。この手ごたえを1つでも多くの行政に感じてほしいと思っています。



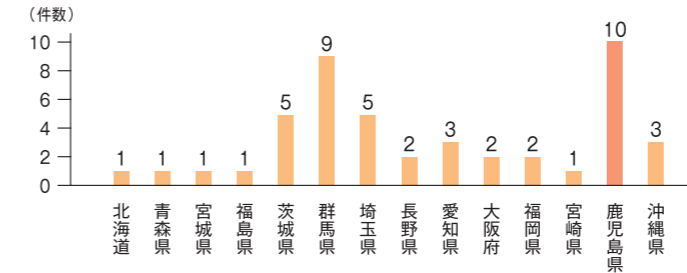
行政枠アンケート結果の詳細がご覧いただけます。



■ 多頭飼育救済枠アンケート結果

- 2022年度さくらねこ無料不妊手術 多頭飼育救済実施数 **68** 件
- アンケート有効回答数 **46** 件

■ 都道府県別申請数（アンケート回答46行政の都道府県別）



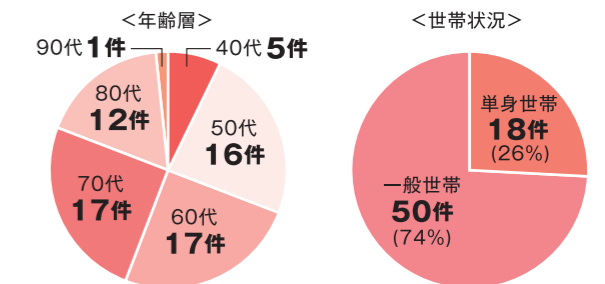
昨年度に引き続き、関東圏からの申請が多く全体の約40%を占めています。申請件数が最も多かった鹿児島県では、2021年度3件→2022年度10件と3倍以上に増加しました。



[飼い主の約7割が60代以上。高齢者の動物飼育について考える]

2022年度に支援を行った多頭飼育崩壊68件について、飼い主の年齢層をまとめてみたところ、60代以上の飼い主が約7割でした。また、単身世帯ではなく一般世帯での発生が多いことがわかりました。動物を飼育している高齢者世帯がすべて多頭飼育崩壊に陥るとは限りません。しかし、高齢者の動物飼育に関しては飼育放棄の問題も深刻化しています。個人のモラルに委ねるだけでなく、高齢者と動物の両方が、その生涯を幸せに過ごすことができる仕組みづくりが必要ではないでしょうか。

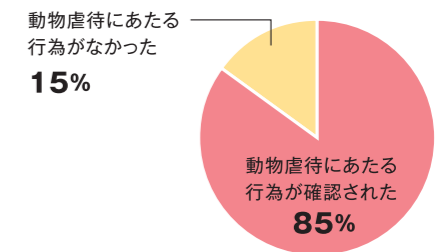
■ 多頭飼育崩壊を起こした飼い主の年齢層と世帯状況について



[多頭飼育崩壊現場で多発する「動物虐待」にどう対応するか]

2022年度に支援を行った多頭飼育崩壊68件のうち、崩壊現場で動物虐待にあたる行為が確認されなかったケースはわずか10件でした。暴力をふるう等の積極的虐待はなかったものの、ケガや病気の治療をせずに放置する、十分な餌や水を与えない等のネグレクトにあたる行為はほとんどのケースで確認されています。多頭飼育崩壊の対応にあたる際、関係者は動物虐待が発生していた事実を忘れてはいけません。全頭不妊手術はあくまで解決の第一歩。未来に向けて動物虐待を防止するのはもちろん、過去の動物虐待に向き合う姿勢が問われます。

■ 多頭飼育崩壊現場での動物虐待について



多頭飼育救済枠アンケート結果の詳細がご覧いただけます。



声なき弱者に代わって声をあげる、それがどうぶつ基金の使命です。

どうぶつ基金では、動物愛護に関する課題を解決するため、オンラインによる署名活動のほか、自治体への要望書や質問状提出など、様々な働きかけを行っています。

■ オンライン署名

オンライン署名サイト「Change.org（チェンジ・ドット・オーグ）」でオンライン署名を募っています。現在実施している3つのキャンペーン(オンライン署名)は、どれも動物の命に関わる重要なもの。ひとり一人の賛同が社会を変える大きな後押しとなります。ぜひご賛同をお願いします。

キャンペーン 1



詳しく知りたい方、ご賛同いただける方はこちら

世界遺産を口実に、奄美や沖縄の猫を安易に殺処分しないでください!

— **100,000人** を超える方にご賛同いただいています (開始日:2017年9月19日)

環境省は、アマミノクロウサギなど固有種の絶滅を防ぐという理由から、何百年も島内で固有種と共存してきた猫を「ノネコ」と位置づけ、3,000頭もの猫を捕獲・殺処分する「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」(2018~2027年度)」を実施しています。どうぶつ基金は、杜撰な調査をもとに立案されたこの計画に反対しています。



キャンペーン 2



詳しく知りたい方、ご賛同いただける方はこちら

猫や犬の殺害犯罪をなくすためノネコ、ノイヌを狩猟鳥獣から削除してください

— **43,000人** を超える方にご賛同いただいています (開始日:2023年3月27日)

2023年3月、広島県呉市で地域猫が惨殺される悪質な動物虐待・殺害事件が発生しました。猫を殺害・虐待する様子を動画共有サイトで公開するなどしていた犯人は「愛護動物にあたらぬノネコだ」と平然と主張。動物虐待・殺傷に鳥獣保護管理法が利用されたのです。



「ノネコ」が狩猟鳥獣に指定されていなければ、今回の悪質かつ残忍な殺害事件は防げた可能性が高く、今後同様の事件が発生しないために、そして、想像を絶する恐怖と苦痛のなかで命を奪われた猫のためにも、鳥獣保護管理法の狩猟鳥獣から「ノイヌ」「ノネコ」を削除するよう環境省へ要請する準備を進めています。

キャンペーン 3



詳しく知りたい方、ご賛同いただける方はこちら

殺処分ゼロのために福岡県動物愛護センターでノラ猫8,000匹の無料不妊手術をしてください

— **40,000人** を超える方にご賛同いただいています (開始日:2023年1月4日)

どうぶつ基金は、2021年から2年間にわたって福岡県に「どうぶつ基金病院」を開院し、「TNR地域集中プロジェクト」として一斉TNRに取り組み、2年間で7,000頭を超える猫に不妊手術を実施しました。この流れを止めたくないとの考えから、福岡県知事及び県議会に「野良猫の避妊・去勢手術の実施に関する要望」を提出しており、その後も継続して働きかけを行っています。



1日 50頭の猫が殺処分されています

■ 要望書、質問状提出

2022年
6月20日

沖縄県・玉城デニー知事に要望書提出

どうぶつ基金、一般社団法人琉球わんにゃんゆいまーる、沖縄県内の市町村が連名で「沖縄県動物愛護管理センター」による地域猫以外の野良猫や多頭飼育崩壊現場の猫に対する無料不妊手術の再開を求める要望書を提出しました。



■ 手術再開が決定!

沖縄県との意見交換を経て「沖縄県動物愛護管理センター」で地域猫以外の野良猫の無料不妊手術を4年ぶりに再開する、との正式回答が出されました!どうぶつ基金が推薦した県内4地域で2022年度からスタートしており、実施状況や実績もしっかりチェックしていきます。

詳しくはこちら

活動ニュース「沖縄県センター 地域猫以外のノラ猫の無料不妊手術 4年ぶり再開へ」



2022年
12月22日

西村明宏環境大臣宛に要望書を提出

2022年12月16日の奄美希少野生生物保護増殖検討会における、同省奄美群島国立公園管理事務所の阿部慎太郎所長の発言「マンガースの駆除に加え、森林の回復や捨て猫などが野生化したノネコの捕獲が進んだ効果も大きい」について、事実と反するとして訂正および謝罪を要請しました。



■ 発言の訂正は必要なしとの回答!

環境省からは発言の訂正と謝罪は不要と回答がありました。2023年1月18日に回答に対する反論と再要請を行いました。環境省の回答は変わらずです。今後もあきらめずに要請を継続していきます。

詳しくはこちら

活動ニュース「どうぶつ基金 西村環境大臣に要望書を提出」



活動ニュース「ロビー活動~公文書開示請求、要請書・質問状提出~」



2023年
2月1日

福岡県・服部誠太郎知事と桐明和久県議会議長あてに要望書と署名を提出

どうぶつ基金、日本獣医師会前会長の山根義久氏、福岡大学教授の山崎好裕氏、弁護士の朝隈朱絵氏、福岡県内20市町の首長が連名し、署名5万筆を添えて「野良猫の避妊・去勢手術の実施に関する要望」を提出しました。



■ 福岡県からゼロ回答!

同要望に対する福岡県からの回答は現状を正しく認識しておらず、連名した20市町ならびに1万筆を超える福岡県民の要望をまったく汲み取っていないゼロ回答。そこで、追加で集まったオンライン署名による4万筆の署名を添えて2023年4月13日に要望書を再提出、同19日に公開質問状を提出しました。

詳しくはこちら

活動ニュース「福岡県 ねこ殺処分ゼロへ 100万人の願い「殺処分ゼロのために動物愛護センターで野良猫8,000頭の無料不妊手術をしてください」要望書、署名を提出。」



活動ニュース「福岡県からのゼロ回答に対し「野良猫の避妊・去勢手術の実施に関する要望」を再提出」



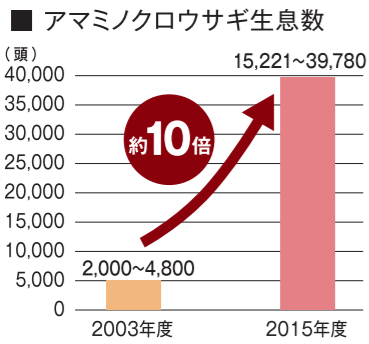
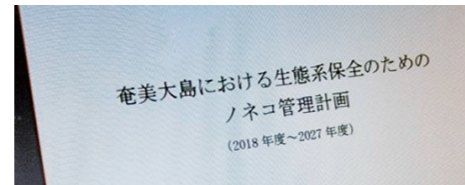


税金を無駄遣いするノネコ管理計画は不要です。

世界遺産となった奄美大島で、3,000頭もの猫を捕獲・殺処分する「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」が2018年度から実施されています。どうぶつ基金は、科学的根拠なく猫の命を奪うこの計画に反対しています。

「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画」って？

アマミノクロウサギなど固有種の絶滅を防ぐという理由から、何百年も島内で固有種と共存してきた猫を「ノネコ」と位置づけ、2018年度から10年間にわたって、3,000頭もの猫を捕獲・殺処分する計画です。杜撰な調査やデータの隠蔽が明らかになった今も、環境省はこの計画を見直すことなく継続しています。



アマミノクロウサギ



ケナガネズミ

猫の殺処分ありきで進む希少種保護。濡れ衣を着せられた奄美の猫たち

奄美大島のアマミノクロウサギの推定生息数は、2003年度時点で2,000~4,800頭とされており、「奄美大島における生態系保全のためのノネコ管理計画(以下ノネコ管理計画)」は、この生息数をもとに2017年度に策定されています。しかしながら、「ノネコ管理計画」策定前の2015年時点で、環境省はアマミノクロウサギの推定生息数が15,221~39,780頭にまで増えていることを把握していました(※)。にもかかわらず、あえて2003年度時点の古いデータを採用し、「ノネコ」の捕食によりアマミノクロウサギが減少し、「ノネコ」の存在が生態系に甚大な被害を与えているという濡れ衣を着せています。これは、最初から計画ありきで都合よくデータを利用し、世論を誘導していると言わざるをえません。そして、この成立経緯にも効果にも疑問符がつく計画に10年間で推定5億円以上の税金が投入されています。



※ 絶滅危惧アマミノクロウサギ、増加か 天敵駆除が奏功
朝日新聞 2019.3.25 朝日新聞デジタル
https://www.asahi.com/articles/ASM2M67FTM2MUTFL016.html (参照2019.3.25)

この計画では守るべき希少種も犠牲に!

ノネコ管理計画における、これまでの混獲数および混獲致死数

混獲数	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	合計
ハシブトガラス	147	435	217	104	145	1,048
アマミトゲネズミ	0	244	13	0	1	258
クマネズミ	15	147	36	15	6	219
アマミノクロウサギ	1	5	2	8	11	27
ケナガネズミ	3	4	4	9	7	27
シロハラ	0	10	0	4	5	19
リュウキュウイノシシ	0	1	0	0	6	7
オットンガエル	0	3	1	2	1	7
ハブ	0	2	1	1	0	4
イヌ	0	1	2	0	0	3
ルリカケス	1	0	0	0	1	2
ニワトリ	2	0	0	0	0	2
サシバ	0	1	0	0	0	1
ネズミsp.	0	1	0	0	0	1

混獲致死数	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	合計
ハシブトガラス	1	4	2	1	1	9
アマミトゲネズミ	0	2	0	0	0	2
クマネズミ	0	1	1	0	0	2
ネズミsp.	0	1	0	0	0	1
シロハラ	0	1	0	0	0	1

※ 赤字が希少種・天然記念物

2022年度 奄美関連の動き

2022年12月22日 | 参議院会館(東京都千代田区)において、動物愛護議員連盟と環境省の会議に出席。西村明宏環境大臣宛に要望書を提出。

ロビイング(P.23~24)のページにも記載していますが、どうぶつ基金は、2022年12月22日、参議院会館で行われた動物愛護議員連盟と環境省の会議に出席し、西村明宏環境大臣宛に要望書を提出しました。

2022年12月16日の奄美希少野生生物保護増殖検討会における、同省奄美群島国立公園管理事務所の阿部慎太郎所長の発言「マンガースの駆除に加え、森林の回復や捨て猫などが野生化したノネコの捕獲が進んだ効果も大きい」について、事実に反するとして訂正および謝罪を要請する内容です。



2023年2月2日 参議院会館にて、2022年12月22日に提出した要望書に関する意見交換の様子

環境省からの発言の訂正および謝罪は不要との回答を受け、2023年1月18日に回答に対する反論と再要請を行いました。環境省の回答が変わることはありませんでしたが、今後もあきらめずに要請を継続していきます。

詳しくはこちら

活動ニュース「どうぶつ基金 西村環境大臣に要望書を提出」



活動ニュース「ロビー活動~公文書開示請求、要請書・質問状提出~」



Change.org 2023年2月7日お知らせ



2023年1月18日 | 「猫は現地でどんどん撃てばいい」発言について公開質問状提出!

2017年2月3日開催の「第8回特定外来生物等分類群専門家グループ会合(哺乳類・鳥類)」の議事録から、出席者が猫の射殺のみならず、射殺の事実を「黙ってほしい」と隠ぺいを勧める発言をしていたことが分かりました。命に対する敬意のかけらも感じないような発言を他の出席者は黙認。このような発言に対する環境省の見解を問い、殺処分ありきで偏った考え方の委員だけではなく幅広い分野の専門家を招集してメンバーを再編成することについて考え方を問うため、公開質問状を提出しました。

詳しくはこちら

Change.org 2023年1月21日お知らせ



活動ニュース「ロビー活動~公文書開示請求、要請書・質問状提出~」



どうぶつ基金は絶対あきらめない!

「ノネコ管理計画」のもと捕獲された猫は、現時点で1頭も殺処分されていません。それは、「1頭も殺させない」という強い意志をもって活動しているボランティア団体のおかげです。どうぶつ基金は、猫3,000頭を駆除殺処分するこの計画が中止になるまで粘り強く活動を続けます。私たちは、絶対にあきらめません。

三重県

三重県モデルで積み重ねる経験値。
これまでに**2,929**頭のさくらねこがうまれました。

(2018~2022年度の累計)

どうぶつ基金では、猫の殺処分数の減少や地域における飼い主のいない猫による糞尿被害等の問題の解決に向け、「さくらねこTNR」(TNR先行型地域猫活動)に取り組んでいる三重県と連携し、2014年度から飼い主のいない猫の無料不妊手術等を行っています。

また、どうぶつ基金では行政獣医に不妊手術の技術指導を行っています。行政獣医の技術の向上により、より安全確実な手術が行われるようになりました。

本事業の 実績

- 2022年度(全1回) **181**頭 (オス84頭、メス95頭、メス(妊娠)2頭、耳カット等のみ0頭)
- 2021年度(全2回) **349**頭 (オス162頭、メス181頭、メス(妊娠)4頭、耳カット等のみ2頭)
- 2020年度(全2回) **375**頭 (オス162頭、メス205頭、耳カット等のみ8頭)
- 2019年度(全3回) **354**頭 (オス158頭、メス192頭、耳カット等のみ4頭)
- 2018年度(全6回) **613**頭 (オス262頭、メス343頭、耳カット等のみ8頭)

※ どうぶつ基金と三重県動物愛護推進センター「あすまいる」は、2017年9月に「さくらねこ不妊協働事業に関する協定」を締結しました。

2014年にスタートした協働事業は、今年で9年目を迎えました。

問題を解決するには何よりも不妊手術の先行が必要であるということから、三重県はTNR先行型地域猫活動にシフトチェンジを行い、行政とどうぶつ基金の事業は「三重県モデル」という先進の協働となり、継続して実施されています。どうぶつ基金顧問の山口獣医による不妊手術の技術指導で、行政獣医の技術力は着実に向上しています。三重県とどうぶつ基金はさくらねこTNRのトップランナーとして、官民一体となって殺処分ゼロを目指します。

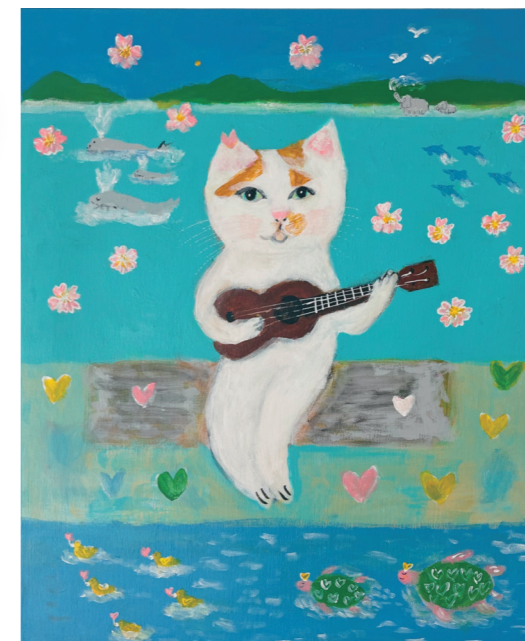
どうぶつ基金と 行政との協働事業について

一般的に「行政との協働事業」というと、行政主導の税金事業が主です。が、どうぶつ基金の場合は、逆です。税金は使わず、どうぶつ基金が皆様からお預かりした寄付金で実行します。なので知恵を絞り、究極まで無駄を省いています。

「さくらねこの日」新キャラクターが誕生しました!

「さくらねこの日」には、イメージキャラクターがいます。
ポスターでおなじみの「さくら」と新たに「ひかり」が仲間に加わりました!

「ひかり」だよ。
よろしくね



「さくらねこの日」のイメージキャラクター「さくらちゃん」の新しいパートナー。この可愛いキャラクターの名前を「さくらねこを増やす1カ月キャンペーン」で公募したところ、何と98作品が寄せられました。その中から最終候補に残った「ピース」「ウタ」「ひかり」の3作品で投票を実施。投票の結果、「ひかり」に決定しました!ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

“ひかり”の名付け親はお2人!

✦ ✦ 温かい気持ちが沢山込められたとても素敵な名前となりました。 ✦ ✦

どんなにゃんこでも幸せに猫生を生きてほしい。すべてのにゃんこに明るい未来の光のある猫生をまっとうしてほしい。そんな思いをこめて「ひかりちゃん(くん)」はどうでしょうか。すべてのにゃんこの幸せを願って..

外の生活を強いられている野良猫や多頭飼育崩壊されている猫達など可哀想な猫達全てが幸せなあたたかい光に包まれるようにと、願いを込めました。



“さくら”と“ひかり”の生みの親はペペ島田さん。

ペペ島田

画家、クリエイター。神戸市在住。
人間の日常を擬猫化する、ユーモラスでやさしい猫の絵が大人気。絵画展覧会やウクレレを片手に弾き語る絵と音楽による活動も展開中。国内のみならず、世界中で本やポストカード等のプロダクトの発売。また、スポーツアパレルブランドとのコラボレーションも継続中。





ちきゅう部



2021.4.22 happy earth day!

ちきゅう部、発信。

● ちきゅう部宣言

1. どうぶつ基金はこれまで、犬や猫が殺処分されることなく、幸せに人と共生できる世の中を実現するため、さくらねこTNRを中心に活動してきました。
2. その活動を通して、ヒトも犬もネコもミジンコも木や花も土も水も、みんな絶妙なバランスでつながっていること、どれひとつ、ないがしろにしてはうまくいかないことに気がきました。
3. ヒトが何かを守ろうとして他のいきものを駆除すると、絶妙なバランスが崩れ、けっか、地球全体や人の心まで壊れてしまう、そんなことが現実起きています。
4. そこで地球の全体を見て考え行動する「ちきゅう部」を、アースデイ4月22日に設立します。(アースデイがバースデイです)。
5. これまでの活動で養った「常識を疑う目」で地球の全体を見ます。(「常識を疑う」姿勢を大切にします)。
6. どうぶつ基金は、ちきゅう部の設立にあたって、大ぶろしきを広げます。そして地球をやさしさを包み込みます。

どうぶつ基金が活動を進めるなかで、だんだん見えてきたのは、私たちの周りのすべての生物を取り巻く地球全体の自然環境が危機的な状況にある、ということでした。

そこで、これまでの経験と知恵を活かし「全ての生物が幸せに共生でき、かつサステナブルな地球環境を実現する」ため、新たに「ちきゅう部」というセクションを、どうぶつ基金のなかに設立しよう、という思いに至りました。

もともと、どうぶつ基金の定款にある目的 / ミッションは「動物の適正な飼育法の指導・動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設に寄与すること。」です。

ここに、目指すべき未来への展望として「全ての生物が幸せで自由な地球」を加えたいと思いました。

「全ての生物が幸せで自由な地球」になるには「全ての生物が幸せに共生できるサステナブルな地球環境」を実現しなければなりません。

そのとき特に配慮したいと思うのは、

「いきもの目線で弱者にやさしくする。」

「ヒトの役に立つから、希少だから、という理由で命に差をつけない中長期的な視点を持つ。」

この二点です。

これは、種の保存法により特別天然記念物に指定されている国内希少野生生物種のアミノクロウサギを保存しながら、奄美大島と徳之島でさくらねこTNRミッションを遂行するなかでも強く思ったことでした。科学的にも正しい、生きものと弱者へのやさしさを、広く伝えていきたい。それができるどうぶつ基金になりたい。犬や猫だけでなく、というより、犬や猫のためにも、ほかのいきもの命も大切にしたい。人間の健康な未来も大切にしたい。これからのどうぶつ基金は、さらに幅広く活発に活動していきます。

2021年4月22日 アースデイ どうぶつ基金



Photo by Sagami

ちきゅう上のいきものや環境のことを様々なテーマで発信しています。



私たちがオーガニックコットンを選ぶ理由



【ちきゅう部だより】ちきゅうのはじっこで考える

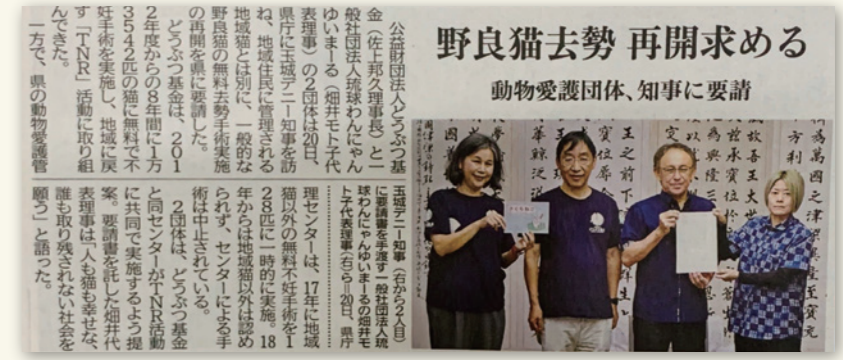


その他にも多数!



メルマガの登録はこちらから。ぜひご一読ください!





2022年6月21日 沖縄タイムス



2022年11月19日 中野新聞



2022年5月13日 毎日新聞



2022年4月18日 熊本日日新聞



2022年4月11日 KAB熊本朝日放送

2022年度 メディア掲載・放映一覧 (2023年3月31日現在)


13 回 掲載数	新聞掲載	
	2022 4 / 15	有明新報(有明筑後版) 野良猫の無料不妊手術
	2022 4 / 15	毎日新聞 野良猫の不妊手術開始
	2022 4 / 15	西日本新聞 猫不妊手術会場を開院
	2022 4 / 18	熊本日日新聞 野良猫増やさん 無料で不妊去勢
	2022 5 / 13	毎日新聞 猫耳カット変更も即撤回
	2022 6 / 21	沖縄タイムス 野良猫去勢 再開求める
	2022 11 / 15	夕刊デイリー 野良猫のTNR 推進へ支援要望
	2022 11 / 19	中野新聞 野良猫殺処分 減らそう
	2023 2 / 4	毎日新聞(筑後) 猫の不妊手術進めて
	2023 1 / 27	熊本日日新聞 V字耳先 不妊手術の証し
	2023 2 / 22	西日本新聞(ふくおか版) 野良猫の不妊手術 県に要望
	2023 2 / 24	熊本日日新聞 多頭飼育崩壊を防ぐ不妊手術
2023 3 / 28	西日本新聞(ふくおか版) 猫7000匹に無料不妊手術	

5 回 放送数	テレビ放映	
	2022 4 / 11	KAB熊本朝日放送 地域のネコを増やさないために 無料不妊手術
	2022 5 / 31	FBS福岡放送 不妊治療を受けた「さくらねこ」地域の受け入れを呼びかけ
	2022 9 / 9	YAB山口朝日放送 ネコを新たな家族に つなぐ 殺処分ゼロへ 旅館の猫庭
	2022 10 / 13	BS朝日 ネコいぬワイドショー(写真コンテストの紹介)
2022 11 / 25	BS朝日 つながる絵本 #202 どうぶつ基金「見捨てない 大事な命」	

495
回
掲載数

ウェブニュース掲載

一覧がご覧になれます。



15
回
掲載数

PR TIMES掲載

一覧がご覧になれます。



NHK NEWS WEB 福岡 NEWS WEB

野良猫の殺処分ゼロへ病院開設 繁殖制限手術を無料で みやま

6/4(土) 13:00(25)

野良猫が殺処分されるのを無くしていくこと、繁殖を制限するための手術を無料で行う病院がみやま市に設置されました。

この病院は兵庫県にある公益財団法人「どうぶつ基金」が運営するもので、みやま市の保健センターの敷地内に設置されました。

野良猫の殺処分を無くそうとどうぶつ基金が全国の自治体に設置を呼びかけたところ、今年度はみやま市など4か所に開設されることになりました。

みやま市はみやま市の保健センターやどうぶつ基金の代表が参加して視察が行われたあと、ボランティアなどが協力した1.05区に繁殖を制限するための手術が行われました。

手術を受けた猫は耳の先を桜の花びらのようにカットし、「さくら猫」として再び地域に戻されるということです。

どうぶつ基金の佐上邦久理事長は「殺処分をゼロにすることが一歩の目的です。街で『さくら猫』を見かけたら優しく見守ってほしいです」と話していました。

この病院は、来年3月末まで1年間、設置され、あわせて4,000匹以上の猫に対応する見込みだということです。

2022年4月14日 NHK 福岡 NEWS WEB

NHK NEWS WEB 熊本 NEWS WEB

野良猫の無償不妊手術の取り組み開始 熊本市動物愛護センター

6/4(土) 13:00(25)

野良猫を無償で不妊手術を受けることを目的に野良猫に優しい不妊手術を行う取り組みが、11日から熊本市動物愛護センターでスタートしました。

この取り組みは、兵庫県の公益財団法人「どうぶつ基金」が主催する不妊手術です。

どうぶつ基金は、動物愛護センターの敷地内に「さくらねこ」の看板を設置し、不妊手術を受ける猫の数を増やしていくことを目指しています。

無償の不妊手術は毎月3日まで毎月3日ずつ行われることになっていて、熊本市の動物愛護センターへの電話かメールで予約することができます。

動物愛護センターの電話番号は096-330-2153、メールアドレスはinfo@kumamoto.ac.jpです。

どうぶつ基金のウェブサイトは、www.dobutsukin.or.jp、www.dobutsukin.or.jp/kyoujiです。

熊本市動物愛護センターの受付時間は「この取り組みで地域に優しい野良猫の殺処分を無くそう」の取り組みを行っています。

2022年4月11日 NHK 熊本 NEWS WEB

YAHOO! JAPAN ニュース

猫も人も幸せに暮らす島 一斉不妊手術から6年のいま

9/3(土) 12:36 配信 67

産経新聞

かつて住民より多数の猫が暮らす「猫の島」として全国から観光客が押し寄せた瀬戸内海の男木(おぎ)島(高松市)。島内の全猫(約140匹)への不妊手術から6年となる今年、猫は半数以下にまで減少した。一方で「劣悪だった」栄養状態は皆良好となり、人懐っこい猫目当ての観光客は今も絶えない。関係者は「猫も人も幸せに暮らす島」に向けて地道な活動を続けている。

【写真】社の境内でくつろぐ三毛猫。耳の切れ込みはTNRの印だ

高松港の北約8キロ先、瀬戸内海に浮かぶ男木島は面積1・34平方キロ、人口約150人の小さな島だ。

現在、島で暮らす猫は約60匹。全体を管理するのは12年前に瀬戸内国際芸術祭(瀬戸内)を機に島を訪ね、翌年から「週末移住」を始めた大阪の元中学校教諭、松本善樹さん(62)だ。57歳で早期退職後は「完全移住」し、飲食や宿泊ができる休憩所「夕陽と猫の家」を営む。猫を通して知り合った全国の人々とともに約2年前、猫と人の共生を目指す「男木島さくら会」を設立した。

島に猫が増え始めたのは20年ほど前。有名な動物写真家の番組や本に登場したのを機に「猫の島」として全国的に有名になり、猫目当ての観光客が押し寄せられるようになった。一方、猫の増加に伴い、住民は糞(ふん)尿による悪臭や、農作物を荒らされるなどの被害に悩まされ、苦情も増えた。

地元協議会は、野良猫を捕まえ(Trap)、不妊・去勢手術をし(Neuter)、元の場所に戻す(Return)「TNR活動」などに取り組むNPO法人「BONにゃん」(高松市)に相談。公益財団法人どうぶつ基金(兵庫県芦屋市)が主催して獣医師団を派遣し、手術、ワクチン、その他の獣医療費用を全額負担した「さくらねこ一斉TNR」によって平成28年、計142匹の猫の不妊手術を行った。

2022年9月3日 Yahoo!ニュース(産経新聞)



写真・動画コンテスト

買わずに飼ってね!

いのちつないだ♥ワンニャン写真・動画コンテスト

いきものが自由でしあわせ

コロナ禍で人との交流が大きく制限されるなか、犬や猫の存在はこれまで以上に大きく、そして欠かせないものとなりました。不幸な犬や猫を救ったつもりが、実はこっちのほうが救われていた。彼らが私たちに与えてくれる幸せは、与えたものよりもずっと大きいことに気付かされる瞬間があります。そんな日常のワンシーンを残していきましょう。



■ 環境大臣賞 あしたもいい日

猫ちゃんが軽やかに歩いているだけで気分が晴れやかになりますね。



voice

多くの犬猫たちの未来に幸あれ 北方 有さん

皆さんの犬猫愛いっぱいの写真を見るのがとても好きなコンテストでの入賞はとても嬉しく光栄に思います。「あしたもいい日」は世話をしている地域猫たちが近隣の人たちにも可愛がられるようになり、見守りの輪が広まっていくなかで猫たちが楽しく遊んでいた姿がこの先も良いことが起きそうな気がしてつけたタイトルです。このコンテストに参加したことによって、現在は保護猫団体の手伝いをしながら地元の猫たちのTNR活動の協力をするようになりました。もっとたくさんの犬猫たちに素敵な未来が訪れるようになればと微力ながら活動していきたいです。

応募総数
1,435
件

Judge's comment

大きな愛で包みこまれている

人間がいることによって、猫ちゃん、ワンちゃん、動物たちにとってハッピーな時もあれば、アンハッピーな時もあります。毎年感じる事ですが、コンテストにご応募頂いた方々はこのことをとても理解されている方々だと感じました。



Photo by I.Susa

審査委員長 GLAMOROUS co.,ltd. 代表 森田 恭通

そこにある愛情と幸せを感じる

今年の写真は、美しい景色の中で撮られた犬、猫たちの姿が印象深かったです。ワンコ部門では、飼い主さんと保護犬たちが、四季折々の自然の中で心から楽しんでいる姿が多く、お互いの幸せな時間が伝わってきました。ニャンコ部門は、室内ならではの工夫がされたカラフルな作品や、思わず笑ってしまうようなユーモラスな写真に、飼い主さんの優しい視線、たくさんの愛情を感じました。さくらねこ部門は、町や自然の風景を美しく取り入れていて、ただの猫写真というだけでなく、作品としてのクオリティが非常に高かったです。

特別審査員 ハニハジメプロダクツ 八二一



■ 写真展が全国で行われました。

大阪府	摂津市	摂津市立コミュニティプラザ
宮崎県	都城市	エムズガーデン内エムズホール
和歌山県	橋本市	和歌山県立橋本体育館
奈良県	五條市	五条市役所
神奈川県	逗子市	逗子文化プラザホール



■ 作品展・作品パネル貸出

あなたの町でも「いのちつないだワンニャン写真・動画コンテスト作品展」を開催しませんか? どうぶつ基金では、展示品を全国に無料貸出しています。どうぶつ基金ウェブサイトよりお申し込みください。



■ 啓発素材のフリー提供

どうぶつ基金では、ロゴやフライヤー・イラスト・ポスター等、活動・啓発素材の無料提供をしています。

イラスト・チラシ提供はこちら。



さくらねこ絵本が大好評!



絵本がeBookでご覧になれます。



行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

1,316頭 × 7,000円

犬や猫を殺処分前に救って
新しい家族を見つける活動を支援しました。

全国各地の保健所等で行われている犬や猫の団体等譲渡制度を推進するために、団体等譲渡制度に登録し、行政から収容動物を引き取り、新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、

1頭あたり、7,000円の助成を行いました。

？ 団体等譲渡制度とは

行政が運営する保健所等が、新たな飼い主を探す活動を行っている団体又は個人へ、収容された犬及び猫の譲渡を行う制度です。譲渡を受けるには、各保健所への登録が必要です。行政とボランティア団体が協力することで、より多くの収容された犬猫に家族を得るチャンスを与えることができます！

■ 2022年度助成実績

2022年度は、**1,316頭**が再譲渡され、合計 **9,212,000円**の助成を行いました。

頭数 **1,316頭** × **7,000円** = 助成金額合計 **9,212,000円**



くん活大好き 家族になって2年、すでにシニア期に入っている推定年齢で、長年暮らしたシェルターでは経験なかったドライブに悪戦苦闘しながら、お出かけや日々の散歩を楽しんでいます。べったり甘える事はありませんが、毎日とても私達が幸せにできてます。

「いのちつないだ♥ワンニャン写真・動画コンテスト 2023」 大西 香

voice

年間250頭の小さな命をつないでいます



毎年、年間250頭ほどの乳飲み子・子猫を保護し里親様へとつなげています。その中の半数以上は行政から受け入れた乳飲み子です。飼養し里親様にお渡しするまでには医療費・ミルクやフードといった費用の負担が大きく、どうぶつ基金からの助成金により大変助かっております。譲渡の際には、脱走防止や不妊手術の必要性など丁寧に説明し、ご理解頂ける方への譲渡を徹底しています。不幸な猫を増やすことのないようにとの願いを込めて活動を続けています。今後ともよろしくお願いいたします。

NPO法人倉敷猫まもりの会 代表 塩田 陽子



保護された“いのち”のその先を考える

今世紀最大の「ねこの日」2022年2月22日から2カ月にわたり、譲渡活動に力を入れる全国のボランティアの方々の支援するためのクラウドファンディング「いのちつなぐ#ねこの日基金」を実施しました。



日本初・実績No.1のクラウドファンディングサイト「READYFOR」とタッグを組んだこのプロジェクトには、

421名の方から **4,293,230**円のご支援が寄せられました。

■ 猫の殺処分が減っている本当の理由

環境省の発表によると、2021年度、全国の保健所や動物愛護センターに引き取られた猫は34,805頭。猫の殺処分数は11,718頭と減少傾向で、譲渡活動に力を入れる行政が増えたこともあり、引き取り数の約66%にあたる22,888頭が譲渡され、その命をつないでいます。

殺処分ゼロまであと一歩ではあるものの、手放して喜べる状態ではありません。

殺処分数が減少し、譲渡数が増えている本当の理由。それは、民間のボランティア(団体・個人)が、殺処分を待つ猫の命を守るため、最前線で頑張ってくれているからにほかなりません。

■ いのちを守る最前線を支援する

しかし、この数年、その最前線は大きな危機に直面していました。長引くコロナ禍による運営資金の枯渇や譲渡の停滞などにより、ボランティアが二次崩壊(ボランティアの多頭飼育崩壊)を起こす可能性すらあったのです。

人間の都合によって命の危機にさらされた猫を救い、そして、引き取った猫に新しい温かい家族を見つけてくれる……そんな“いのちの最前線”を守りたい、譲渡活動に力を入れる全国のボランティアの方々の支援したい、という思いからこのクラウドファンディングはスタートしました。

■ 選考委員ご紹介(敬称略)



山根義久

医学博士 / 獣医学博士 / 前日本獣医師会会長 / 東京農工大学名誉教授 / 公益財団法人動物臨床医学研究所 理事長 / 倉吉動物医療センター / 山根動物病院 / 米子動物医療センター 会長



香取章子

ジャーナリスト / 編集者 / 一般財団法人ちよだニャンとなる会代表理事



山口武雄

獣医師 / 公益財団法人どうぶつ基金 前代表



佐上邦久

公益財団法人どうぶつ基金理事長

■ ご協力者ご紹介(敬称略)

森田恭通

GLAMOROUS co.,ltd.代表 / デザイナー

八二一

男女二人組の写真家、写真講師 / 白黒猫はっちゃんときゅうちゃんの飼い主

猫のきんた・ココ・楽【きんこら】

動画クリエイター

■ 結果報告

選考委員による審査を経て、全国で活動する84のボランティア(個人・団体)に助成金としてお届けしました。

助成実績 84件(316頭分)

助成金申請状況 申請件数:90件 / 無効申請件数:6件(必要書類の提出がなかったもの) / 有効申請件数:84件(1,557頭)

助成金額

<ご寄付総額> READYFOR経由:4,293,230円 / どうぶつ基金の口座へ直接振込:13,002円 **合計 4,306,232 円**

<助成金額> 1頭につき10,000円×316頭 = **3,160,000 円**

※ 寄付総額よりREADYFORへの手数料および事務手数料を引いた額:3,168,526円 助成金額が10,000円のため1万円以下を切り捨て。

※ 端数の8,526円につきましては、どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術」事業において、飼い主のいない猫の不妊手術費等として使用させていただきました。

■ 助成金を受け取った

ボランティアの皆様からのメッセージ(抜粋)

助成金の支給、誠にありがとうございます。保健所収容の子猫が増えてきたため、医療費保護費に使わせていただけます。大変助かります。(Y.K様)

助成金をいただきありがとうございます。微力ですが活動を続けていきたいと思っています。助成金は、予想外の保護猫の手術代にあてさせていただきます。本当にありがとうございました。(M.T様)

助成金を支給いただき、ありがとうございます。これからも非力ではありますが、TNR、譲渡とできる限りの事をしていきたいと思っています。(T.I様)



ご支援いただいた皆様、本当にありがとうございました!

また、選考委員の皆様、ご協力者の皆様、「READYFOR」の皆様をはじめ、すべての関係者の皆様のご協力に感謝を申し上げます。

SAKURANEKO SHOP

オーガニックコットンやバンブーファイバーなど、
人にも地球にもやさしい素材を使用したグッズが勢ぞろい。
ショッピングを通して、地球環境や動物愛護の問題を考えてみませんか。

*利益はすべて犬や猫の救済をはじめ地球の生き物を守る活動に使われます。



BASE店



YAHOO!店



アーティストのご紹介



繰り返し使える
ガラス製ストロー



竹の繊維を使った
マグカップ



竹の繊維を使った
蓋付きタンブラー

オーガニックコットン製
巾着トートバッグ



オーガニックコットン製
5.3オンスTシャツ

ご寄付のお願い

殺処分ゼロを実現するため、
あなたに合った方法で私たちの活動を支援してください。

3,000円で一頭のオスねこが…
5,000円で一頭のメスねこが…

「さくらねこ不妊手術」を受けることができます。

ご寄付をいただいた皆様に現場から感謝の声が届いています!

地域猫10頭中、3頭をチケットによって手術させていただきました。ありがとうございます。小さな命ですが私たちと同じ1つの命を大切にみんなで守ってあげたいと思っています。そして、多頭飼育崩壊や虐待が少しでもなくなる安心な世の中になったらいいなあと思っています。救われる命がたくさんある事をもっと広めていきたいです。本当にありがとうございます。

岩手県 M.T様



ご寄付くださる皆様のおかげで、不幸な命を増やさない活動ができております。殺処分や、過酷な環境で暮らさざるをえない命をゼロにするために日夜頑張ることができています。全国の仲間も同じ気持ちだと思います。ご寄付いただいた方々の気持ちに応えるべく、これからも活動を頑張りますのでよろしくお願いいたします。さくらねこサポーターの皆様本当にありがとうございます。

福岡県 H.K様



郵便局

00230-8-72832

公益財団法人どうぶつ基金

(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)

銀行

三井住友銀行 芦屋駅前支店(店番号380)

普通 4172198 公益財団法人どうぶつ基金

(コウエキザイダンホウジンドウブツキキン)



どうぶつ基金



つながる募金



YAHOO!募金

WEB寄付のお願い特設ページ [どうぶつ基金 寄付](#)

* 公益財団法人どうぶつ基金への寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

公益財団法人 どうぶつ基金 659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
寄付のお問い合わせは **0797-57-1215** (平日10:00~17:00)
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



遺贈寄付

大切な命を守り、
共に生きていく。

どうぶつ基金は1988年、人間の勝手な都合によって殺処分される犬や猫をゼロにするために設立されました。それから30年、殺処分数ゼロを目指し活動続けるなかで活動にご賛同いただき、将来ご自身が遺される財産や、ご家族から相続された財産を、不幸な犬や猫のために役立ててほしいとのお申し出を多くいただくようになりました。そこで、皆様のご遺志の実現をどうぶつ基金に託していただけるよう設立いたしました。

■ 遺贈による寄付

遺言書によって指定した個人や団体へ、指定した財産を残すことを「遺贈」といいます。

*遺贈による公益財団法人どうぶつ基金への寄付は、一定の条件を満たすことで相続税はかかりません。

遺贈寄付を行うには、遺言書の作成が必要です。

■ 相続した財産からの寄付

相続された財産の一部を、どうぶつ基金にご寄付いただくことができます。

相続開始後10ヵ月以内にご寄付いただき、どうぶつ基金が発行する「領収書」を相続税申告書類に添付して申告していただくと、ご寄付いただいた財産には相続税がかかりません。

■ 現金以外の寄付

財産が不動産の場合は、遺言執行者が現金化（換価処分）し、税金・諸費用を差し引いた上で、現金にてご寄附いただくようお願いしております。現金以外のご寄附をご検討いただく際は、公益財団法人どうぶつ基金まで事前にお問い合わせください。

いただいたご寄付は、
どうぶつ基金の活動に
大切に使用させていただきます。

無料不妊手術



出張手術



里親探しの支援



知ってもらおう活動



■ パンフレットについて

遺贈・相続によるご寄付について、
わかりやすいパンフレットをご用意しております。

パンフレットのダウンロードはこちら。



■ お問い合わせ

遺贈寄付について、お気軽にご相談ください。



公益財団法人 どうぶつ基金 659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
寄付のお問い合わせは **0797-57-1215**（平日10:00~17:00）
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



どうぶつ基金について



公益財団法人
どうぶつ基金
ANIMAL ACTION FUND

殺処分ゼロを目指して

公益財団法人どうぶつ基金は1988年の設立以来、
犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指して活動してきました。
基金では、殺処分ゼロを実現するために
6万2千頭におよぶ猫の無料不妊手術をはじめ、
無料不妊手術専門の動物病院運営や助成金制度、
啓発イベントの開催など、様々な事業に取り組んでいます。



doubutukikin history

- 1988年 富岡操が財団法人横浜動物福祉協会を創設
- 1990年 神奈川県愛甲郡清川村に移転 シェルター運営開始
- 2005年 猫の無料不妊手術事業開始
- 2006年 佐上邦久が代表に就任 財団法人どうぶつ基金に名称変更
- 2010年 公益認定にともない名称を公益財団法人どうぶつ基金に変更
事務局を兵庫県芦屋市へ移転
いのちつないだワンニャン写真コンテスト開始(環境省後援)
- 2012年 沖縄県石垣島で初の出張無料不妊手術
「さくらねこ」の名称誕生
- 2014年 行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度 開始
- 2016年 日本財団賞受賞
- 2017年 社会貢献支援財団奨励賞受賞
タイ国にて国際活動
(ソイドッグファンデーション アニマルホスピタル)
- 2018年 あまみのさくらねこ病院開設(2019年6月閉院)
奄美大島のすべての猫を対象に無料不妊手術実施
- 2019年 さくらねこTNR累計110,000頭突破
さくらねこ Japan Branding Awards2019 Winners賞を受賞
- 2020年 さくらねこTNR累計160,000頭突破
内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定
- 2021年 全国3都市(大阪・福岡・宮崎)でTNR地域集中プロジェクトを実施
さくらねこTNR累計222,222頭突破
- 2022年 全国4都市(大阪・福岡・宮崎・熊本)で期間限定のどうぶつ基金病院を展開、
TNR地域集中プロジェクトを実施
さくらねこTNR累計280,000頭突破



会計報告

正味財産増減計算書 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで 公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益	348,037,972	353,231,074	△ 5,193,102
基本財産運用益	5,354,714	6,270,584	△ 915,870
基本財産受取利息	0	0	0
基本財産受取配当金	5,354,714	6,270,584	△ 915,870
受取寄付金	334,894,561	334,554,969	339,592
グッズ販売収益	6,773,223	12,332,447	△ 5,559,224
雑収入	1,015,474	73,074	942,400
(2) 経常費用	362,137,853	338,881,540	23,256,313
事業費	360,002,953	336,160,427	23,842,526
地代家賃	1,458,000	1,458,000	0
賃借料	99,000	0	99,000
水道光熱費	99,515	225,662	△ 126,147
旅費交通費	2,066,076	1,811,092	254,984
通信費	1,119,137	1,019,986	99,151
荷造運賃	808,794	2,884,644	△ 2,075,850
広報費	22,190,582	22,385,526	△ 194,944
会議費	686,923	0	686,923
消耗品費	10,283,049	5,904,221	4,378,828
修繕費	1,698,840	53,321	1,645,519
減価償却費	2,793,289	371,513	2,421,776
保険料	105,794	113,832	△ 8,038
租税公課	498,070	892,103	△ 394,033
支払手数料	9,142,761	4,619,232	4,523,529
支払報酬料	9,806,409	9,286,097	520,312
事務手数料	8,582,263	12,532,338	△ 3,950,075
諸会費	0	77,962	△ 77,962
不妊手術援助費	274,404,765	260,742,173	13,662,592
支払助成金	12,443,800	8,946,000	3,497,800
グッズ製作費	1,710,961	2,834,475	△ 1,123,514
雑費	4,925	2,250	2,675
管理費	2,134,900	2,721,113	△ 586,213
地代家賃	162,000	162,000	0
賃借料	11,000	0	11,000
水道光熱費	11,058	25,075	△ 14,017
旅費交通費	229,565	201,233	28,332
通信費	124,349	113,333	11,016
荷造運賃	89,866	320,516	△ 230,650
会議費	76,326	0	76,326
消耗品費	251,440	656,025	△ 404,585
修繕費	188,760	5,925	182,835
減価償却費	36,955	41,281	△ 4,326
保険料	11,756	12,648	△ 892
租税公課	39,630	28,281	11,349
支払手数料	385,519	114,095	271,424
支払報酬料	516,127	1,031,788	△ 515,661
諸会費	0	8,663	△ 8,663
雑費	549	250	299
評価損益調整前当期増減額	△ 14,099,881	14,349,534	△ 28,449,415
基本財産評価損益等	△ 18,429,124	18,233,379	△ 36,662,503
評価損益等計	△ 18,429,124	18,233,379	△ 36,662,503
当期経常増減額	△ 32,529,005	32,582,913	△ 65,111,918
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 32,529,005	32,582,913	△ 65,111,918
法人税、住民税及び事業税	88,400	391,100	△ 302,700
当期一般正味財産増減額	△ 32,617,405	32,191,813	△ 64,809,218
一般正味財産期首残高	181,375,489	149,183,676	32,191,813
一般正味財産期末残高	148,758,084	181,375,489	△ 32,617,405
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	148,758,084	181,375,489	△ 32,617,405

貸借対照表 令和5年3月31日 現在 公益財団法人 どうぶつ基金 (単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	47,182,423	43,875,512	3,306,911
売掛金	314,708	1,854,385	△ 1,539,677
商品	1,993,057	1,857,201	135,856
前払費用	3,600,580	1,356,145	2,244,435
未収入金	445,153	0	445,153
流動資産合計	53,535,921	48,943,243	4,592,678
2 固定資産			
基本財産	68,472,242	89,367,964	△ 20,895,722
投資有価証券	68,472,242	89,367,964	△ 20,895,722
特定資産	48,000,000	61,000,000	△ 13,000,000
TNR事業拡大積立資産	48,000,000	61,000,000	△ 13,000,000
その他の固定資産	11,132,560	13,070,704	△ 1,938,144
工具器具備品	929,760	407,204	522,556
差入保証金	360,000	360,000	0
ソフトウェア	9,842,800	0	9,842,800
ソフトウェア仮勘定	0	12,303,500	△ 12,303,500
固定資産合計	127,604,802	163,438,668	△ 35,833,866
資産合計	181,140,723	212,381,911	△ 31,241,188
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	32,024,884	30,261,952	1,762,932
未払法人税等	88,400	391,100	△ 302,700
未払消費税	141,400	224,100	△ 82,700
預り金	127,955	129,270	△ 1,315
流動負債合計	32,382,639	31,006,422	1,376,217
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	32,382,639	31,006,422	1,376,217
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	148,758,084	181,375,489	△ 32,617,405
(うち基本財産への充当額)	(68,472,242)	(89,367,964)	(△ 20,895,722)
(うち特定資産への充当額)	(48,000,000)	(61,000,000)	(△ 13,000,000)
正味財産合計	148,758,084	181,375,489	△ 32,617,405
負債及び正味財産合計	181,140,723	212,381,911	△ 31,241,188

doubutukikin 2022



どうぶつ基金は、人とどうぶつが
幸せに共生できる社会づくりに貢献します。